

京都大学

経済学部同窓会

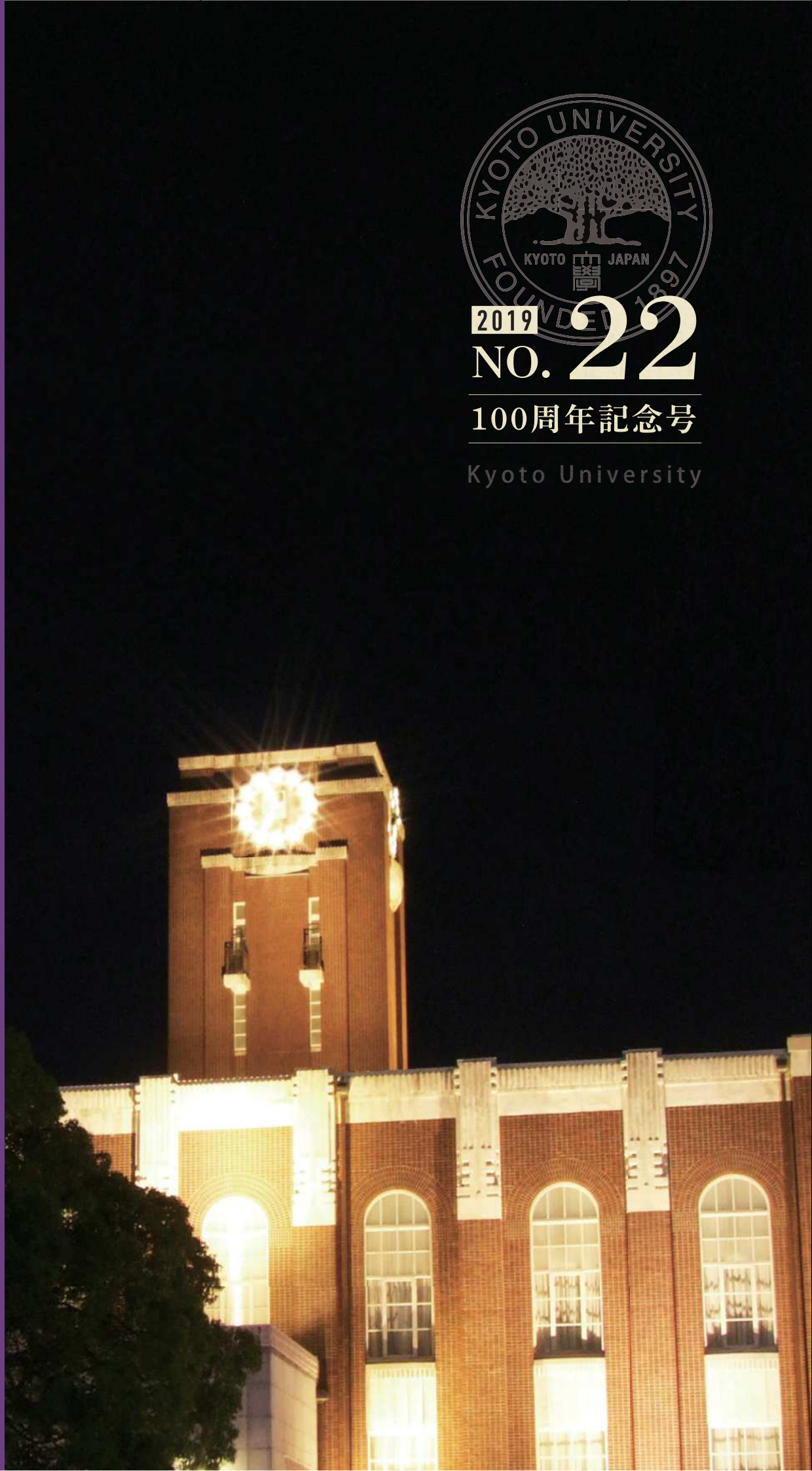


2019

NO. 22

100周年記念号

Kyoto University



創立100周年 典・祝賀パーティのご案内



日時：2019年10月19日（土）午後2時～午後7時

場所：ウェスティン都ホテル京都

西館4階 瑞穂の間

会費：1万円（1名につき）

※ 100周年基金に5万円以上のご寄付をいただいた方は、記念行事に無料ご招待いたします。

さらに『京都大学経済学部百年史』を贈呈いたします。

＊ ささやかではございますが、ご出席の方全員にお土産をご用意しております。

まだ若干お席がありますので、ご出席希望の方は左記まで至急ご連絡下さい。

（同窓会事務局ではなく学部の総務掛が担当しております）

- 出席のご連絡をいただいた方には、会費の払込用紙と、会場地図の詳細をお送りします。
- 5万円以上ご寄付いただいた方でまだ出席のご返事をされていない方はご連絡をお願いします。
- 出席のご返事をいただいた方で、万一払込用紙が届いていない場合は申込みが完了していませんので至急ご連絡下さい。（5万円以上ご寄付の方を除く）

着席コーススタイルのため、会費は先払いとなりますが10月9日まではキャンセル可能です。
定員（322名）になり次第締め切りとさせていただきます。何卒ご了承ください。



京都大学経済学部 記念シンポジウム・記念式

次第

《受付 午後1時30分より》

◆ 同窓会総会（午後2時～2時30分）

総会に先立ち同窓会理事会を開催いたします。《理事会の受付は12時より開始》
同窓会本部理事の方々には別途ご連絡申し上げます。

◆ 記念シンポジウム（午後2時40分～3時50分）

『人材育成』における京都大学経済学部の役割

京都大学経済学部を卒業され、各界でご活躍の方々にご登壇いただき、在学時の思い出など具体例をもとに京大経済学部で受けた教育が卒業後に社会でどのように活かされたか、また今後の教育に何か必要かをお話しいただいて、これからの本学部のあり方を皆様と一緒に考えたいと存じます。

パネリスト

MS&ADホールディングス グループCEO
三井住友海上火災保険株式会社 取締役会長

日本生命保険相互会社 代表取締役会長

大阪大学大学院経済学研究科 教授

株式会社 日本総合研究所 理事

環境省 大臣官房秘書課長

柄澤康喜 氏（昭和50年卒）

筒井義信 氏（昭和52年卒）

大竹文雄 氏（昭和58年卒）

山田 久 氏（昭和62年卒）

大森恵子 氏（平成2年卒）

司会・オーガナイザー

京都大学大学院経済学研究科 教授

依田高典

◆ 記念式典（午後4時～5時）

山極壽一京都大学総長にご来場いただく予定です。
加えて、京都大学経済学部にご縁の深い各界の方々をお招きして100周年を祝います。

◆ 祝賀パーティ（午後5時～7時）

※ ウェスティン都ホテル京都の正餐形式（コーススタイル）
着席ディナーをお楽しみいただきます。

※ 記念式典・パーティでは京都大学交響楽団による
弦楽四重奏、アカペラサークルCrazyClefの皆様の
パフォーマンスも予定しております。



※写真はイメージです



2次会プランのご紹介

2次会会場として、
ホテル3Fバー
「ムーンライト」を
おひとり様¥3,500にて
ご利用いただけます。

※ご利用は10名様より
承ります

※詳しくはホテルに直接
お問い合わせ下さい。

TEL 075-771-7111

お問合せ先

経済学部総務掛 (075)753-3401 担当：澤田

（平日 午前9時～午後4時）

同窓会会長ご挨拶



京都大学経済学部・同窓会会長

小塚 修一郎

私は2016年秋より同窓会会長の任にありますが、昭和47年卒の小塚修一郎でございます。

同窓会はその規約の第3条において「本会は会員相互の親睦及び母校との連絡をはかることを目的とする」としてあります。時代を超えて、共に京都大学経済学部で学んだことを絆として、卒業後も交流を続け、互いのより豊かな人生に資する親睦の場として同窓会活動が存在することがまず第一の目的であります。そのため全体を総括し大学と直接接する本部の下、集うことが容易な地域ごとに支部を設け、その支部毎に懇親会や講演会などを企画しており、同窓会活動の中心はこの支部の活動にあると言つてよいと思います。残念ながら支部毎のいろいろな事情から、出来ること、参加頂いている規模は必ずしも満足のいくものではありません。

せんが、毎年工夫を凝らされ有意義なものとなっておりますので今後集まりの輪が一層広がるものと期待しています。

もう一つの目的であります大学との連絡をはかることについては近年大学サイドで同窓生全体に向けて大変な努力を頂いております。ホームページや広報誌はますます充実してきており発信力は飛躍的に向上しております。昨年から同窓生向けに特典付き情報サービスとして「KUN」もネット配信されております。同窓会としても先生方はもちろんのこと、現役の学生諸君も「特別会員」として活動に参加頂くことでOB、大学、現役学生の直接交流の機会を設けています。同窓会員の側にも、OBとしてまた社会人の先輩としてのいろいろな意見や思いがあります。それらを届けることでいささかも大学にもお役に立つことがあればと

思っております。

さて、現在我国経済はバブル期を経て以降の長期低迷下にあります。これには只今の米中貿易摩擦問題にみられるようなその時々々の国際的要因も影響しているものの、なにより我国自身が抱える少子高齢化の問題が大きな足枷となっております。働き方改革、女性の社会的進出の加速、外国人労働者の受け入れ問題など当面の課題に対応するとともに、根本的問題として子供が財産であるよりコストである側面がより強く認識される社会政策を改めていく必要があります。少子高齢化という構造的要因を抱え、国際的地位の低下が避けられない中で我国経済をどう発展させ国民生活をどう維持・向上させていくのか、かつてない困難で重要な局面を迎えているのだと思います。そしてそうであるがゆえに今こそ経済学の出番であるのだと思います。経済学に何が出来るのかが問われているのだと思います。行政や経済界の役割と責任はもちろん重要であります。しかしながら大学もまた然りであります。

京都大学経済学部がその先頭に立つて学究と人材育成の両面で社会に貢献し続けることを同窓生一同期待してやみません。

京都大学経済学部は今秋創立百周年を迎えます。大学にはすでに準備委員会が設立され記念事業の具体化がすすんでおります。事業の内容は別のところでご覧になられると思いますのでここでは省略しますが、百周年を記念することは単に過去を振り返るだけでなく、京都大学経済学部のこれからの百年の発展のためのスタートを切ることではなければなりません。同窓会としては会員の皆さんにお願いし、記念事業を賄うだけでなく、いくら何でもその後の学生諸君の学業を支援するものを残したいと思ひながら寄付のお願いをしています。企業からのまとまった寄付を求めにくい中、個人の寄付だけでは出来る事は限られますが、先輩としての思いを少しでも多く後輩に届けたいと思っております。

私たち同窓会員にとっては京都大学経済学部が素晴らしい学びの場であり続けることが何よりの希望であり誇りであります。その思いを共通のものとして持ち続けながら同窓会活動に微力ではありますが、全力で取り組んで参りたいと思っておりますので関係各位のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

特集

写真で見る経済学部の百年

特集①

経済学部 百年のあゆみ

● 前史

1897 (明治 30) 年

京都帝国大学設立

1900 (明治 33) 年

京都帝国大学法科大学に経済学第一講座財政学を設置

1915 (大正 4) 年

『経済論叢』創刊

● 1919-1945

1919 (大正 8) 年

京都帝国大学経済学部創設(経済学科)
京都大学経済学会、経済学部同好会が創立

1926 (大正 15) 年

The Kyoto University Economic Review
創刊 (2004年 The Kyoto Economic Review
と改題)

1928 (昭和 3) 年

河上肇が辞職(河上事件)

1943 (昭和 18) 年

第1次学徒出陣

● 1946-1988

1948 (昭和 23) 年

調査資料室を設立 (2011年、経済資料
センターに改称)

1949 (昭和 24) 年

新制京都大学を設置

1953 (昭和 28) 年

京都大学大学院経済学研究科を設置

1959 (昭和 34) 年

経済学部経営学科を設置

1960 (昭和 35) 年

京都大学経済学部同好クラブが創立

1962 (昭和 37) 年

京都大学経済研究所を設置

1972 (昭和 47) 年

竹本問題の発生 (1977年、処分決定)
法経済学部北館を建築

1984 (昭和 59) 年

外国人留学生特別選考・3年次編入を
開始

1987 (昭和 62) 年

大学院経済学研究科に現代経済学専
攻を設置 (社会人学生の受入開始)

1988 (昭和 63) 年

論文入試を導入 (2016年、特色入試へ)



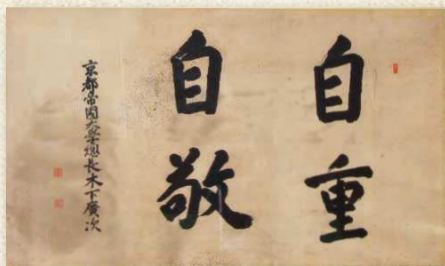
シュンペーター教授とともに (1931年)



法経旧館(研究棟)模型



河上祭 (1963年)



木下廣次京都大学初代総長の書



法経中庭 (1964年)



卒業アルバムより授業風景



ゼミ旅行 (1964年頃)



掲示板 (1965年頃)



百万遍交差点



百万遍知恩寺



大学紛争の頃

● 1989-2003

1989 (平成元) 年

経済学部創立70周年記念祝賀会
経済学部同窓会を再建

1991 (平成3) 年

経済論叢刊『調査と研究』創刊 (2012
年休刊)

1996 (平成8) 年

大学院重点化 (教官は大学院経済学研
究科に所属し、経済学部を兼務する)

2000 (平成12) 年

プロジェクトセンターを設置

2001 (平成13) 年

法経済学部東館が完成

2002 (平成14) 年

上海センターを開設 (2010年、東アジア
経済研究センターに改称)



● 2004-2019

2004 (平成16) 年

国立大学法人京都大学となる

2006 (平成18) 年

経営管理大学院・公共政策大学院を
設置

2007 (平成19) 年

卒業50周年記念同窓会を初めて開催
(昭和32年卒業生)

2009 (平成21) 年

大学院経済学研究科に東アジア国際人
材開発コース (のちの東アジア持続的発
展研究コース) を設置
経済学部を経済経営学科の1学科に統
合
2回生演習、入門演習開始

2014 (平成26) 年

スーパーグローバル大学創成支援事業
による「京都大学ジャパングートウェイ
構想」に参画

2019 (令和元) 年

大学院経済学研究科に高度専門人材養
成コースを設置 (既存の一般コースは研
究者養成コースとなる)



貴重書庫



法経第七教室



時計台1階 (旧法経第一教室、現在は百周年記念ホール)

● 出典

京都大学経済学研究科・経済学部ウェ
ブページ:
[http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/about
/history/](http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/about/history/)

『京都大学経済学部百年史』(近刊)

※歴史の詳細は「京都大学経済学部百年史」をご参照下さい。

特集② キャンパス周辺の様子



湯川記念館



ハイライト



北部構内南門



本部構内北門



旧演習林事務室



北部グラウンド



法経済学部東館

法経東館



百周年時計台記念館



吉田神社



楽友会館





清風荘



百万遍北西角



百万遍北東角



百万遍南西角



百万遍南東角



総合体育館



西部生協会館「ルネ」



西部講堂



京大正門前バス停付近



総合博物館



カフェレストラン
「カンフォーラ」



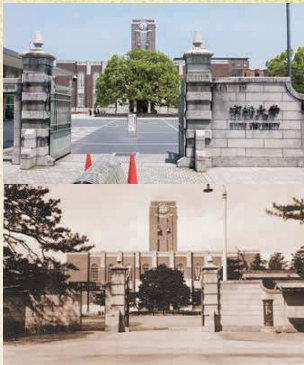
吉田グラウンド



尊攘堂



特集③ Campus Life Now & Then



京大正門



ゼミ風景



生協購買部



旧ナカニシヤ書店付近



楽友会館



京大正門前バス停付近 (東一条交差点)



旧教養部 (総合人間学部)



吉田南構内正門



附属図書館1F (現在のラーニング commons)



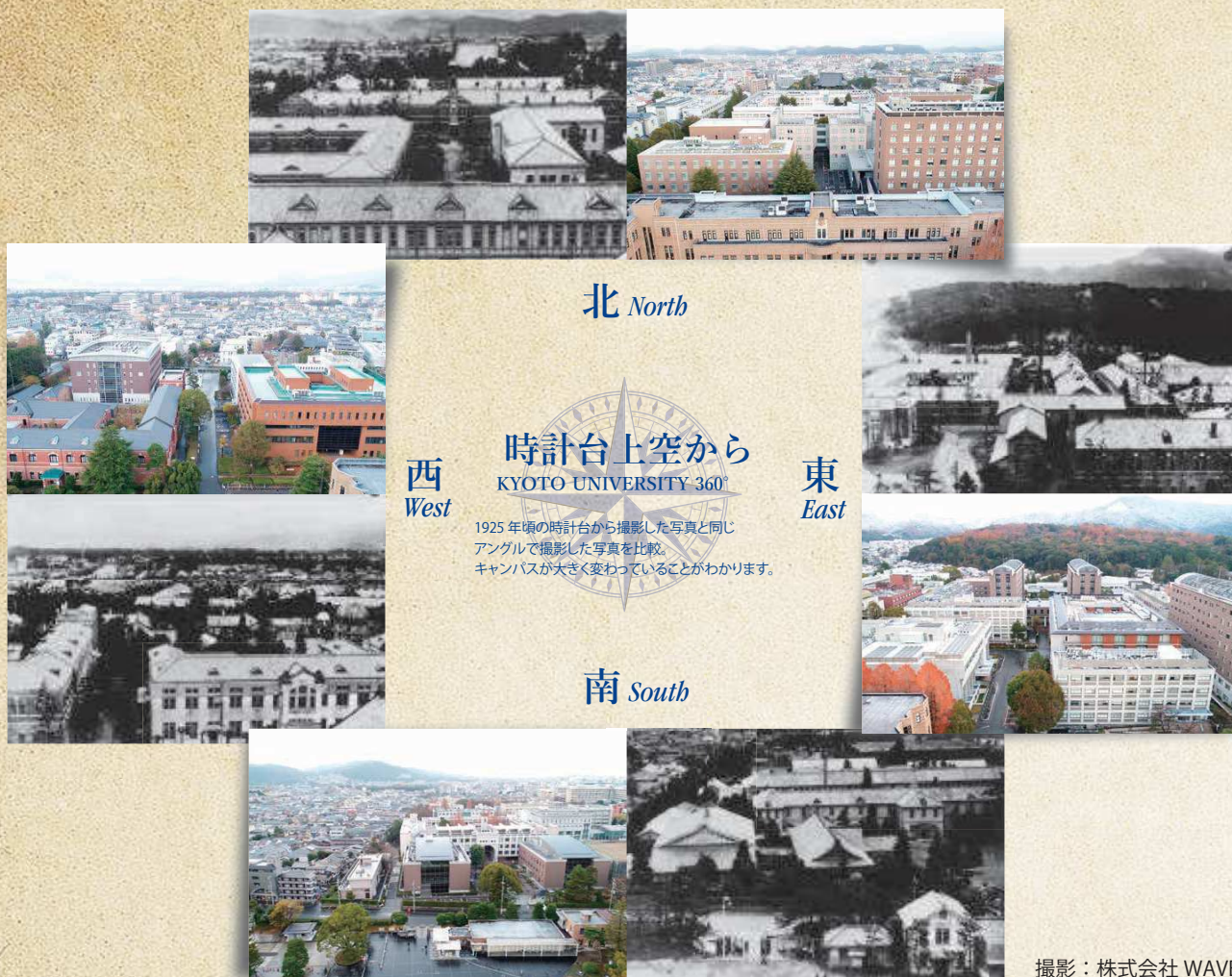
法経旧館付近



附属図書館



時計台と法経本館の中庭



法経本館外観



法経本館廊下



進々堂

豊崎稔先生の思い出

昭和31年卒・京都大学名誉教授 池上 惇



豊崎稔先生は、わたくしの恩師である。とりわけ、大学院時代は指導教授として、多くの論文作成に、ご助言をいただいた。

先生は、貨幣的景気理論（ヴィクセル、ケインズなど）の日本における先駆的研究者で、同時に、日本経済分析、日本機械工業研究の中心におられた。戦後、アメリカ経済調査団などが派遣されるときは必ず中軸を務められていた。戦争直後、自他ともに認める経済学の第一人者であったと言えよう。そのおかげで豊崎研究室には、当時のアメリカ経済・財政研究の第一級資料が揃って「自由を持って行け」が先生の口癖であった。

その一方で、叙勲だとか、〇〇賞などは大嫌いで、決してお受けにならなかった。戦争中、先生の学位論文が日本工業の決定的な弱点を説明されていた由。学位も官許であった時代、経済学博士の学位をもらえず、大阪商大を辞して大阪商工会議所の調査を担当されていたとの噂であった。そのためか、先生は、経済界など民を信用されていて、官を決して信用されていなかった。わたくしは、文化資本研究教育で勲章をいただいたが、もし、先生がご存命ならば決して許されなかったと思う。申し訳ないことをし

ていると思うと恥ずかしい。

先生の指導方針は、徹底した、「理論研究と現場調査の二本足」。内外の学術雑誌を読んで、現代一流の理論を発見し研究せよ。現場に足を運び、隠された実態を発見して研究せよ。であった。これは大変であるが、楽しい学習の機会でもあった。

近経とか、マル経とかの用語は先生の辞書にはない。真実を反映した理論と現場の事実のみ。国富論も、経済学原理も、資本論、一般理論も原文で「読んでいて当たり前」。それだけに、当時の経済学会では「豊崎^き兼^がね学派」という冗談が流行していた。どうも、双方に気配りが出来ているという意味であつたらしい。その意味では、豊崎ゼミは、ソ連が崩壊しようが、日本の経済危機が長期化しようが右往左往することはない。本当にありがたい学習の機会であった。感謝あるのみ（2019年5月31日）。



経済学部影、今も

昭和39年卒

細川 恒

今年が経済学部創立100周年に当たる一方、わたしたちの卒業は55年前。経済学部の歴史の半分より以前に在学していたことになる。意外に若い学部になっていたことになるが、そのように感じたことはなかった。高度経済成長が始まるとともに、日本の経済は許より経済学者の存在感も大きくなっていた。その中で諸先輩の活躍を歴史の厚みのように感じたのかもしれない。

当時は、“近経”か“マル経”かと言われ、授業内容もかなり異なっていた。教養時代のクラスメートは別にして、ゼミ毎に分かれた3回生以降では多くの人が友人作りにこの壁に直面したように思う。当時、“マル経”からは“近経”には哲学がないと揶揄された。しかし、現在は市場経済の矛盾も目立つが、民主主義と自由を重視する市場経済は両者を表裏の関係として経済社会の発展に寄与してきた。“近経”、“マル経”は懐かしい歴史の中にある。二十歳前後のわたしたちに授業中に平易な言葉で語られたことや経済学の用語が、社会人になってから実感を伴い分かったことは少なくない。“経済は法律より強い”は実態の重要性を教えた。形式論から入るのではなく、実態把握が経済を相手に仕事する者には不可欠の視点であったことは言うまでも

ない。

“部分均衡”と“一般均衡”は繰り返すし目にした用語であった。卒業後間もなく、日本の産業公害問題が火を噴いた。産業公害から環境問題へ、そして近年は地球温暖化問題へと拡がり深刻さを増す。部分均衡的解が次の問題を生み、それが次の解を生み、また問題を惹き起こす。エコロジカルな自然の働きは一般均衡論的で、やはり部分均衡論は初歩なのだと学生時代を思い出し納得していた。

セカンド・ベストには複数解が存在することは、現実の選択肢を迫られる時に重要な視点であった。

中でも、本質の把握と合理性の追求は日々の生活に直接関わっていた。科学する世界では当たり前のことだが、利害が交錯する経済社会では必ずしもそうではない。それを求める原点は経済学部にあったのでは、とふと思う。

卒業後33年余の官界生活の間は時間的余裕もなかったが、その後の20年余の今日まで仕事の一環として、事の本質をできるだけ直截にまとめることにしている。流石に最近では、書く本数が少なくなったが、“二日一題、ニュースの本質”と自ら題して、書いている。役所時代は、右顧左眄せず、事の本質を直線的に掴み仕事してきたつもりで

いる。経済学で単純化して本質を捉えようとする姿勢の影響ではなかったかと思う。

合理性を追求するという経済人の行動原理。この点が無意識のうちに判断の基準に入っていたことは意外に後年気づくことになった。現実には個人の合理的行動と社会の合理性追求とは大きく異なるが、マクロの観点からまず“べき論”で合理性を求めてきたように思う。この点は、法律や政治を専攻してきた人とは少し違っていただろうし、“書生っぽい”と映ることもあったと思う。ありがたいことに、それを許す環境が仕事場にあった。

実は、この点が、退官後に手掛けることになった仕事と関係する。非常に簡略化して書かざるを得ないが、社会インフラの一つであるアスファルト舗装道路の路上での再生補修事業である。役所時代の仕事とは無縁。既存の道路資源を使い、補修施工速度は速く、環境性能も経済性も高い。高速道路建設の時代は終わり、補修維持に重点が移る時代にはこの技術が社会コストを下げるのに不可欠と考えた。日本の場合は、高速道路が排水性アスファルトに替わって行った事情が大きいですが、まったく出番がない。経済合理性のあるものは選ばれるとの考えで出かけたインドも既存のものがその存在を主張する。現実の壁は厚く、市場参入は容易ではなかった。ドン・キホーテの世界だったが、変革は政府から起きた。15年後、

インド国交省 (MOHED) は、我々の手法を今後のインドにおける補修方式の基本とする通達を出した。我々が一般的に想像するインドとは違うインドがある。既存勢力との闘いはまだまだ続くが、可能性は開けた。

我が国が嘗て享受した成長の基本條件は人口減を始めかなり失われているが、それを備えるのがインド。国内市場の成長が止まれば、市場内の勢力はどうしても保守化する。既得権益にしがみ付こうとするからだ。各国で国家の分裂が顕在化する中、安定した環境を提供するのは、日印であることも事実。日本の未来を日印の間に見出そうとする今日でもある。



インド・バンガロール空港の広大な拡張予定地を背に筆者

教員の紹介

Thank you very much
退任



岡田 知弘

今年3月末をもって、29年間働いた京都大学を定年退職しました。学生時代から通算すると41年間、京大で過ごしたことになります。百周年を迎える経済学部歴史の4割にあたると思うと感無量です。

この間お世話になった、恩師の皆さん、学部・大学院時代の友人たち、そして同僚として支えて頂いた教職員の皆さんに、深く感謝したいと思います。

京大では、幾多の思い出がありますが、やはり300人近くの学生ゼミの卒業生や、100人に及ぶ大学院修了生と一緒に学べたことが最も大きな財産です。

4月からは、山科の山麓にある京都橘大学で働きはじめました。併せて、『京都大学経済学部百年史』編纂作業に取り組んでいるところです。

小島 専孝

京都大学大学院経済学研究科・経済学部 教授
2019年3月31日 退職

稲葉 久子

京都大学大学院経済学研究科・経済学部 准教授
2019年3月31日 退職

Welcome
新任



岡 敏弘

京都大学公共政策大学院・経済学研究科 教授

【担当講義科目】

公共政策大学院：公共政策論B、経済政策

【抱負・感想】

1978年から1988年まで本学で学んだ後、滋賀県琵琶湖研究所と福井県立大学に長く勤め、2019年4月に着任しました。琵琶湖研究所で琵琶湖への汚濁負荷削減政策の費用便益分析をやる必要から厚生経済学の理論的基礎を固め、それを基に、有害化学物規制や生態系保護政策やリサイクル政策の評価、製品のライフサイクル評価手法、地球温暖化政策手段などの分野で研究してきました。経済学の狭い手法が通用しない場合にどのような論理でものを言うかを追求してきたように思います。公共政策大学院の学生が何を欲しているかまだつかめませんが、彼らの要求に応えられるよう努力します。

五十川 大也

京都大学大学院経済学研究科・経済学部 講師



【担当講義科目】

学部…産業組織論

大学院…応用ミクロ計量分析、実証産業組織論

【抱負・感想】

2019年4月に着任しました。専門は産業組織論であり、主にミクロ経済学と計量経済学のツールを用いて、現実の市場を対象に実証分析を行なっています。対象市場の構造を明らかにするとともに、その市場に関連する重要な政策の影響について定量的な評価を行ってきました。近年は特に日本の電力市場や医療機器市場に関心があります。

本学への赴任前は、東京大学で学位を取得した後、同大学の公共政策大学院で講師を行っていました。学生時代も含めて長い間東京で過ごしてきましたので、新しい場所での研究と教育をとても楽しみにしています。どうぞ宜しくお願いいたします。

ケヴヘイツシュウイリ ルースダン

(Kevhishvili Rusudan)



京都大学大学院経済学研究科・経済学部 講師

【担当講義科目】

学部…経営財務、外国文献研究(経・英) B
大学院…ファイナンス工学1、グループワーク

【抱負・感想】

2010年4月に京都大学経済学部に入學してから、2019年3月に博士号(経済学)を取得するまでに、9年間京都大学の学生でした。専門はファイナンス工学です。主に、確率過程を使った信用リスク分析に関する研究を行っています。理論的研究と実証分析両方に関心があります。

教育者としては、学生が理論的基礎を確実に理解できるように授業を行っていたいと思っています。学生のデータ分析・数値計算のスキルを伸ばすことにも取り組めます。勉強の過程では、学生からの問題指摘と質問が不可欠であり、学生の自律性を育てることも重要だと思っています。

これからは、京都大学経済学研究科の研究と教育に尽力したいと考えています。

高梨 誠之

京都大学大学院経済学研究科・経済学部 講師



【担当講義科目】

学部…外国文献研究

大学院…意思決定論2、ゲームと情報の経済学

【抱負・感想】

学部時代は理学部数学科に所属し、その後ゲーム理論に興味を持ち、修士課程では経済学研究科に進学しました。博士号を取ったのち、九州大学に1年間勤務し、オークションの研究に従事し、その後、本学に赴任しました。現在は人々の非伝統的な意思決定とそのゲーム理論への応用に興味があり、主に理論的な視点からの研究を行っております。九州大学に就職するまで、9年間を本学にて学生として過ごしたこともあり、土地としては見知ったものですが、教員として過ごすのは初めての経験であり、新鮮な気持ちで教壇に立っております。今後は、本学で学んだことを在学生に可能な限り還元できるよう、精進して参ります。宜しくお願い致します。



各

支部からの便り

本年5月11日創立百周年記念の第29

回東京支部総会と記念パーティが学士会館で開催された。二〇〇人の同窓生と創立百周年をお祝いすることができ、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

これに先立ち、前年の支部総会から1年「百周年記念東京フォーラム」の冠講演を6回行い、延べ約六〇〇人の参加を得た。目的は若手の同窓生の参加と、記念募金活動の支援とした。新企画として人材交流のため経済交流会と経営者交流会を立ち上げた。本年1月の第1回経済交流会では、同窓の池尾和人慶大教授、齊藤誠一橋大教授、太田聡一慶大教授をパネラー、加藤秀樹京大特任教授をコーディネーターとして、「日本経済の将来」についてディスカッションした。一五〇人余の産官学の人材交流を行い、大成功であった。

更に来る9月3日の第1回経営者交流会は、スタートアップ企業と経済界の交流の場を、京大東京オフィスに設ける予定である。フォーラムの一環として、従来の経済懇話会は昨年7月岩本康志東大教授に、11月は江上雅彦研究科長にご講演いただいた。経営研究会は昨年9月櫻野泰則熊谷組社長に、本年3月渡部恒郎日本M&Aセンター執行役員に講話を御願いしたところ、恩師の若林靖永教授も応援に駆けつけて

頂き盛会であった。

さて、「東京フォーラム」のメインイベントの支部総会であるが、記念の基調講演は松本紘理化学研究所の理事長（前総長）に、科学立国を目指す今後の日本について講演を御願いしたところ、「科学技術とイノベーション」と題し、パワーポイント資料70枚で、わが国の科学技術の百年の歴史と未来のあるべき姿について、明確に示してい



2019年5月11日
百周年記念支部総会
松本紘理理事長記念講演



和田紀夫名誉会長による乾杯と鏡開き

会計報告書

京都大学経済学部同窓会東京支部 第28期(2018年度)東京支部収支決算書 収支決算書 (2018. 4. 1~2019. 3. 31)			
収入の部	金額	支出の部	金額
東京支部総会収入	780,000	支部総会経費	1,297,854
経済懇話会・経済交流会収入	645,000	経済懇話会経費	947,819
経営研究会収入	101,000	(内未払金)	(3,770)
支部活動奨励金(会員)	279,388	経営研究会経費	222,296
(内未収金)	(205,380)	事務費・会議費	464,507
支部活動奨励金(本部)	500,000	振込手数料等	13,752
預金利息	361		
《小計(第28期収入額)》	2,305,749	《小計(第28期支出額)》	2,946,228
前年度繰越金	6,759,946	剰余金(次年度繰越金)	6,119,467
合計	9,065,695	合計	9,065,695

(注1) 収入の部支部総会収入は第28回2018年5月12日開催、会費6000円X129名分
同件者3000円X2名分
(注2) 収入の部、経済懇話会収入は、第52回~53回、経済交流会開催分、経営研究会は
第12~13回開催分
(注3) 支出の部、経済懇話会経費は第52回~第53回、経済交流会開催分
経営研究会経費は第12回~第13回開催分
(注4) 単年度の総収支は、25期▲322,770円、26期▲410,470円、27期▲197,591円
に対し28期は▲640,479円の赤字となった

財産目録 (2019. 3. 31)			
種類	預入先	金額	摘要
定期預金	りそな銀行日本橋支店	4,001,528	
普通預金	りそな銀行日本橋支店	373,457	
普通預金	三菱東京UFJ銀行日本橋中央支店	1,540,884	
合計		5,915,849	

京都大学経済学部同窓会
東京支部長 宇野 輝 殿

第28期支部会計監査報告
京都大学経済学部同窓会東京支部「第28回支部総会報告」(2018年4月1日より
2019年3月31日)について監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。
2019年4月16日

京都大学経済学部同窓会東京支部
監事 合田隆年



宇野輝支部長開会の挨拶



江上雅彦研究科長より
来臨の先生方紹介



相京重信副支部長による
総務報告

ただき記憶に残る記念講演となった。支部総会では宇野輝支部長の開会挨拶、江上雅彦理事長の挨拶と来臨の17名の先生方の紹介があった。相京重信副支部長の決算報告等の案件は承認された。記念撮影後の記念パーティは徳賀芳弘副学長の挨拶で始まり、和田紀夫名誉会長の鏡開きで

乾杯し盛り上がった。
なお、今回の支部総会での試みとして、現役教授のご協力を得て、平成卒の

東京

TOKYO

京

支部



2019年5月11日 於：学士会館

皆さんに参加して頂くために、ゼミ会をパーティと同時に開催することとした。一次会中締め後、ゼミごとのテーブルに模様替えし二次会形式とした。老青入り混じるゼミ会となったが、次につながる令和・平成・昭和三代の人材交流の場となることを期待したい。



琵琶湖周航の歌合唱



2019年5月11日 於：学士会館



梶山泰生教授ゼミ生集合



二次会（ゼミ会）若林直樹副研究科長による先生方の乾杯



2019年3月6日 経営研究会
若林靖永教授のゼミ生渡部恒郎氏による講演



2019年1月26日
第1回経済交流会パネルディスカッション

近畿支部

KINKI

支部



武石教授のご講演

平成30年度の近畿支部の総会・講演会・懇親会が、平成30年12月14日（金）に大阪ガス本社ガスパビルにおいて江上雅彦学部長を始め大学からの多彩なゲストも含め、総勢100人の参加のもと盛大に開催されました。

総会は、槌野吉郎支部長の挨拶、今年度の支部活動報告と会計報告がされた後、江上本部長（学部長）の来賓挨拶、田中本部常務理事（教授）の本部活動報告、田中大学総務部卒業生係長の同窓会活動紹介・会員勧誘がありました。

続いて、京都大学大学院経済学研究科の武石彰教授により、「経営学は（どのように）役に立つのか」のテーマで

御講演をいただきました。経営学を学べばよい経営ができるわけではない、しかし先人の足跡を学ぶ意義は大きいなど、経営学という学問を根底から問い直す内容の講義でした。

懇親会では、ガスパビル食堂に会場を移し、槌野支部長の挨拶、池上惇名誉教授の発声を皮切りに、スタートしました。5年・10年ごとの卒業年度毎にテーブルを囲んでいましたが、現在の仕事やゼミの先生の思い出話など座が大いに盛り上がり、いつの間にか卒業年度を超えて歓談の輪が広がり、同窓の絆を深めました。途中、豊来家幸輝さんによる傘回しなどのアトラクションがあり、多くの人が暫し懇談を休止し素晴らしい太神楽曲芸に見入っていました。恒例の抽選会の後、「琵琶湖周航歌」を全員で合唱しました。小塚修一郎同窓会会長による閉会挨拶の後、全員で記念撮影をし、来年の再会を誓いつつ幕を閉じました。

また、平成31年4月19日（金）には、今回で4回目となる近畿支部主催の公開講演会が同窓生だけでなく一般の方々も含め約80名の聴衆を集めて大阪ガス御堂筋東ビルで開催されました。槌野支部長から本年が経済学部創立100周年の記念すべき年であること、

会計報告書

京都大学経済学部同窓会 平成30年度 近畿支部会計報告書

【収支決算書】 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)					
収入の部			支出の部		
科目	金額(円)	注	科目	金額(円)	注
近畿支部総会収入(会費)	444,000	①	近畿支部総会経費	806,460	②
本部から支部活動援助金	500,000		理事会・開催費	35,784	③
その他収入(利息)	10		副支部長会会議費	0	④
			近畿支部HP維持費	25,272	⑤
			近畿支部事務委託費	130,032	⑥
			通信費	6,773	⑦
			その他事務費	6,222	⑧
【小計(30年度収入)】	944,010		【小計(30年度支出)】	1,010,543	
【前年度繰越金】	1,050,449		【剰余金(次年度繰越金)】	983,916	
合計	1,994,459		合計	1,994,459	

- ① 近畿支部総会：平成30年12月14日（金）開催。出席者92名
 ② 懇親会640,580円（ガスパビル食堂）、講師謝礼30,000円、ゲスト謝金70,000円等
 ③ 平成30年9月11日
 ④ 該当なし
 ⑤ 株式会社ネットフロント委託費
 ⑥ 大阪ガスビジネススクエア委託費
 ⑦ 郵便、宅急便
 ⑧ 事務局会議、会計監査等

【財産目録】 (平成31年3月31日)			
種類	預入先	金額(円)	備考
普通預金	三井住友銀行	882,808	本店営業部
現金		101,308	
合計		983,916	

【監査報告】
収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確かつ適正であると認めます。

令和元年5月21日
会計監事 林 信
令和元年5月22日
会計監事 内田 博司



2018年12月14日 於：大阪ガスビル（グループ①）



2018年12月14日 於：大阪ガスビル（グループ②）



本山名誉教授のご講演

また記念事業基金への協力依頼など挨拶をされた後、講演が始まりました。今回のスピーカーは本山美彦京都大学名誉教授で、「近代の知性がAIに託した夢―不毛な議論に陥らないために―」をテーマに、単なる技術論ではなく英国のアラン・チューリングやチャールズ・バベッジなど近代の偉大な知性達のAIへの夢、AIが人の知性を豊かなものにするものでなければならぬことなどを中心に論じていただきました。講演終了後の質疑応答でも多くの出席者が質問し、時間を超過して本山先生と熱い議論が展開されました。

・近畿支部総会のご案内 ・メール化についてのお知らせ！

支部総会について

恒例の近畿支部・総会を開催致します。多くの方々にご参加賜りますよう、ご案内申し上げます。

なお、今年から総会等のご案内は京都大学全学同窓会のKUONを使うことによりメール化を推進していきます。本年は経過措置として、メール登録のない方には郵送と致します。**次回以降は、同窓会報への掲載と、メールによる案内にさせていただきます。**

つきましてはメールアドレスの登録、およびメールアドレス変更の際は変更登録をよろしくお願い申し上げます。

日時：令和元年12月13日(金) 17:30～20:30 場所：大阪ガス本社ビル

●詳細は下記の期間にメール（又は郵送）にてお知らせします。

経緯

経済学部同窓会の経費削減のため、開催通知を郵送からメールに変更したいと考えております。何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。（近畿支部会員約4500名へのご案内をメール化しますと、年間約50万円の費用削減になります）

今後は、毎年同窓会報にて近畿支部総会の日時をご案内いたします。

お願い

●メールアドレスを同窓会に登録済の方には10月28日～11月5日の間にメールにてご案内いたします。

ご出席の連絡をご案内メールに記載の**返信用専用アドレス**に必要事項をご記入のうえ、ご返信お願いいたします。

●同窓会事務局にメールアドレスを未登録の方、あるいは、上記期間にメールが届かなかった場合は、

dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp までメール送信をお願いいたします。

●10月28日時点で、メールアドレスを未登録の方は、今回の開催案内を（今までどおり）郵送いたします。ただし、次回（2020年）開催分からは、すべてメールによるご案内とし、郵送は致しませんので、メールアドレスのご登録をお願いいたします。

●メールをお使いにならない方は、2020年以降、同窓会報で支部総会の日時をご確認いただき、出席のご連絡をFAXもしくは官製ハガキでご郵送ください。（FAX番号等は来年の会報でお伝えします）

ご注意

●ご案内のメールは **no-reply@kyoto-u.ac.jp** から配信されます。迷惑メールに入らないように、お手続きをお願いいたします。



2019年6月28日 於：札幌グランドホテル

北海道支部では、澤田支部長からの懇親会の前にぜひ講話をとの強い要望にもとづき2016年11月に北海道大学大学院経済研究科教授の町野和夫（経済学部昭和55卒）さんに「多様な豊かさ」と経済合理性」をテーマに、2018年7月に文学部出身（昭和50卒）の安酸敏真（やすかた）としまさ北海学園大学学長 さんに「現代大学論」をテーマに、そして経済学部100周年を記念して、今年6月には経済学部同窓会本部のご支援のもと、講師として渡邊純子教授（京都大学大学院経済学研究科教授）をお迎えし、「産業再生政策をめぐる政財界史」と題して、現

北海道

HOKKAIDO

支部

在まで渡邊教授が取り組んできたテーマや今後取り組もうとされているテーマについて講話を受けました。また、経済学部創立100周年記念事業についてや、ご自身が「百年史編纂委員会委員長」を担当されているとの説明が行われました。

その後、懇親会と食事でしたが、食事をしながら次々と渡邊教授への質問が行われ、その質疑応答は、我が経済学部同窓会でなければ行われないような社会を経済学の側面から見た場合の質疑応答内容で、中には厳しい質問もありながら、渡邊教授には丁寧な対応をして頂きました。このような北海道支部同窓会にご出席頂き、参加者も大変満足し、楽しんで頂いたと確信しております。渡邊教授並びに同窓会本部の皆様には、心から感謝申し上げる次第です。

会計報告書

京都大学経済学部同窓会北海道支部
平成30年度 北海道支部会計報告書

収支決算書 (H30.4.1～H31.3.31)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
北海道支部総会収入	27,000	支部総会経費	95,000
支部活動補助金	0	通信費	3,034
預金利息	1	事務費	0
(小計(30年度収入額))	27,001	(小計(30年度支出額))	98,034
前年度繰越金	251,455	剰余金(次年度繰越金)	180,422
合計	278,456	合計	278,456

財産目録 (H30.3.31)

種類	預入先	金額	換算
普通預金	北洋銀行 札幌西支店	180,422	
合計		180,422	

監査報告
収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

令和元年6月1日
会計監事 鹿子克己

ら、参加者は少人数ではありますが、北海道支部の灯を消さないように活動して参りたいと考えております。

なお、今回の参加者は澤田（昭和30卒、以下卒業年次）、松田（昭和33）、成田（昭和42）、金子（昭和52）、酒井（昭和52）、杉本（昭和62）、韓（平成11）、長谷川（平成16）。

最後に札幌では毎年8月に関西六大学（実際には七大学（関関同立京神近））OB対抗ゴルフ大会を開催しています。これは全学部OBのものですが、経済学部OBの金子（昭和52卒）さんがキャプテンをしています。同窓生の皆様で、もし北海道へ転勤されゴルフに関心がありましたら、北海道支部へご一報ください。月1回の練習会もあり、神戸大学や東大との対抗戦も行っています。

北海道支部 酒井純（昭和52卒）
連絡先 011（271）6477

名古屋

NAGOYA

支部



西村支部長のご挨拶

○総会・講演会・懇親会が開催されました!!

平成31年3月12日(火)、平成30年度の名古屋支部の総会・講演会・懇親会が名古屋国際ホテルにて、約40名の出席のもと盛大に開催されました。

総会は、西村支部長のご挨拶の後、伊藤理事より、新理事1名が紹介された他、今年度の支部活動報告と会計報告がなされました。

続いて講演会は、京都大学経済学研究科・経済学部の山内裕准教授より、「闘争としてのサービス・文化の視座から」のテーマで、寿司店での店主とお客との会話の分析結果から「サービスにおけるお客の満足とは何か」について説明を頂き、新たな理解が深まりました。



2019年3月12日 於：名古屋国際ホテル

会計報告書

京都大学経済学部同窓会名古屋支部
平成30年度 名古屋経友会会計報告書

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
名古屋支部総会収入	128,000	支部総会経費	548,415
支部活動補助金	350,000		
預金利息	1		
(小計30年度収入)	478,001	(小計30年度支出)	548,415
前年度繰越金	237,330	剰余金(次年度繰越金)	166,917
合計	715,331	合計	715,331

(注) 収入の部の支部総会収入は、平成31年3月12日開催分で、会費4,000円×30名+3,000円×3名分。

財産目録		負債目録	
種類	金額	種類	金額
普通預金	166,917 円		
合計	166,917 円		

監査報告

収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

平成31年4月15日

会計監事

宮田 尚芳

懇親会は、冒頭全員の記念撮影の後、西村支部長のご挨拶、私室賀の発声を皮切りに、愛知県立芸術大学音楽学部同窓会の華麗な弦楽四重奏のもと、歓談の輪が広がりました。

懇親会では、トヨタ自動車株式会社近藤治郎様、本田亨様より、最近のトヨタ自動車株式会社での車両開発やサービスの考え方についてお話いただきました。

その他にも、昨年に引き続き同窓会事務局の田村利恵様に最近の大学の近況をご紹介いただきました。ご報告大変ありがとうございました。

○ご連絡をお待ちしています!!

最後に、琵琶湖周航の歌、紅萌ゆるを全員で合唱して、磯村副支部長による中締めの後、再会を誓いつつ、盛会のうちに幕を閉じました。

名古屋支部の会員は、京都大学経済学部同窓会会員の皆様のうち、愛知県・岐阜県・三重県に居住されているか、勤務されている方々が会員です。転勤等で、上記3県に転入された方で、同窓会事務局に住所変更等の手続きが未済の方は、ぜひ「京都大学経済学部同窓会」のHPで手続きをお願いします。

室賀博幸(昭和47年卒)

同窓会は当初2018年7月6日に予定されていたのですが、大雨警報が発令されたために急遽延期、8月30日に、18名が参加して西村屋ダイニングで開催されました。

最初の30分は、「進化するグローバル経営ーマルチナショナルからトランスナショナルへ」と題して昭和46年卒の牧野信夫（マッキーコーポレーション代表取締役、関西大学社会人学び直し大学院講師）さんに講演をしていただいた。

主旨は「世界経済のグローバル化の進展により、企業が成長、発展し続けるためにはグローバル経営が必須となった。しかし、従来から国際化の方法としてとられてきた本国外の各国に子会社を増やすマルチナショナル経営（多国籍企業経営）は、世界中の事業機能を単一企業の様に活用するトランスナショナル企業経営（超国籍企業経営）に対して競争力を失いつつある。」「マル

チナショナル経営とトランスナショナル経営の主要な違いを一言で言えば、マルチナショナル経営は親会社のミニチュアを外国に作り、各国の



2018年8月30日 於：西村屋ダイニング

会計報告書

京都大学経済学部同窓会神戸同好クラブ 平成29年度 神戸同好クラブ会計報告書

収支決算書 (H29.4.1～H30.3.31)

収入の部	金額	支出の部	金額
神戸地区同窓会収入	120,000	神戸地区同窓会経費	180,000
支部活動補助金	50,000	通信費	10,432
預金利息	6	事務費	
(小計(27年度収入額))	170,006	(小計(27年度支出額))	190,432
前年度繰越金	662,885	剰余金(次年度繰越金)	642,409
合計	832,891		832,841

財産目録 (H30.3.31)

種類	預入先	金額	勘定
普通預金	三井住友銀行神戸営業部	642,409	
合計		642,409	

監査報告
収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

平成30年8月30日

会計監事

伊藤正一

法人を利益単位として規模を拡大する方式である。企業は国境を超えると言われるが、これはあくまで国境のしがらみを脱しておらず、規模の経済性を享受できない。一方、トランスナショナル経営は事業毎に世界を一つの国のように扱い、国境を超えて、規模、情報の経済性を活用する方式である。」

本同窓会会長の本山美彦京都大学名誉教授が開会の挨拶。大学からは神戸在住の島本哲朗教授に昨年に引き続き続いて参加していただき、大学の動きを説明頂いた。その後、参加者全員の近況報告に移った。神戸商工会議所会頭をされている昭和48年卒

神戸
KOBE
同好
クラブ



村田支部長

村田支部長は、最近の大学・大学院の動向などをお話いただき、この場の同窓生の多くは、当時とは様変わりしており、皆さん、改めて感慨深そうに聞き入りました。

次に、同窓生の松山大学の鈴木茂教授から、愛媛の特色ある地場産業である紙産業について卓話をしていただきまし

た。鈴木教授は、紙の産地の四国中央紙産業振興協議会の紙産業振興ビジョン策定委員会の委員長をされているだけに、とても興味深いお話しとなりました。

○総会・懇親会

愛媛支部では平成30年9月8日（土）に、毎年恒例の会（総会及び懇親会）を伊予銀行松山保養所で開催しました。尚、参加者には高齢者が多いため、今回からは膝に負担のかからないように、畳の和室から椅子の洋間としました。



2018年9月8日 於：伊予銀行松山保養所

愛媛支部

会計報告書

京都大学経済学部同窓会愛媛支部
平成30年度 愛媛支部会計報告書

収支決算書 (H30.4.1～H31.3.31)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
愛媛支部助成金収入	48,000	支部助成金経費	105,300
支部活動補助金		通信費	4,968
預金利息	6	事務費	0
(小計(30年度収入額))	48,006	(小計(30年度支出額))	110,268
前年度繰越金	715,813	剰余金(次年度繰越金)	653,551
合計	763,819		763,819

財産目録 (991.3.31)

種別	預入先	金額
普通預金	伊予銀行本店営業部	653,551
合計		653,551

監査報告

収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

令和元年5月8日

会計監事

梶原正秀

○メンバー

上述したように、愛媛支部の同窓生は約30名ですが、例年、参加者は10数名にとどまっております。参加者には高齢者が多く、年々、先細りが懸念されます。今後、同窓生への積極的な働きかけとともに、同窓会本部・他支部との連携を図って同窓生の掘り起こし、参加者増加に努めていきます。

続いて懇親会に移り、参加者はそれぞれ近況や学生時代の思い出などを語り合い、旧交を温めました。事務局の田村さんには、紅一点として、この場を華やかにしていただきました。最後に村田支部長やゲストの依田教授を囲んで記念写真を撮り、来年の再会を誓って閉会となりました。

○連絡先

現在、愛媛県に在住の皆さま、また転居等で今後ご来県の皆さまは、是非ともご連絡をいただき、愛媛支部同窓会の総会・懇親会への参加をお願いします。

愛媛支部連絡先

梶原正秀（昭和50年卒、元伊予銀行）

〒791-8004

愛媛県松山市石風呂町355

TEL・FAX

089（952）4857

メールアドレス

kajiwara.masahide@maroon.plala.or.jp

○会員数

200名程度

地元企業・地方自治体等への就職者を中心に、東京・大阪に本社を置く企業の九州北部地区勤務者等により構成。

○活動状況〔総会・懇親会〕

例年5月に年1回の総会・懇親会を開催。今回は第1水曜日である5月8日に開催、22名の同窓生に参加いた



2019年5月8日 於：ホテルニューオータニ博多

いた。（於 ホテルニューオータニ博多）

総会では、藤永憲一支部長（昭和48年卒）による開会挨拶の後、来賓としてお越しいただいた経済学研究科の藤井秀樹教授から、大学・大学院の近況などについて、お話をいただいた。

山本一清氏（昭和45年卒）による乾杯の後、恒例行事である参加者からの近況報告が行われ、一人ひとりが、仕事や私生活での出来事、学生時代の思い出や京都への思いなどを報告しあい、懇親を深めた。最後に、岡田哲也氏（昭和36年卒）による万歳三唱と記念撮影を行い、今回の懇親会を終えた。

今回の総会・懇親会には、初参加の同窓生も2名出席され、会を盛り上げていただいた。

来年以降も、今までの繋がりはもとより、この新たな繋がりが輪となり、ますます会が盛り上がるよう、総会以外

九州 NORTH KYUSHU 北部 支部

の懇親会の開催や、同窓会本部・他支部との連携等を図り、同窓生の掘り起こし、および総会・懇親会への新規参加者増に努めていきたい。

○その他

同窓生の皆さまにおかれましては、九州への就職、赴任、転居等の機会がありましたら、是非ご連絡をお願いいたします。

寺嶋知憲（平成20年卒）

会計報告書

京都大学経済学部同窓会九州北部支部 平成30年度 九州北部支部 会計報告書

収支決算書 (H30.4.1~H31.3.31)			
収 入	の 部	支 出	の 部
九州北部支部会費収入 ^(注1)	255,000	支部総会経費 ^(注2)	419,890
支部活動補助金	100,000	通 信 費	19,840
預 金 利 息	3	会 費 徴 収	4,992
(小 計(30年度収入額))	355,005	(小 計(30年度支出額))	443,792
前 年 度 繰 越 金	831,113	剰余金(次年度繰越金)	542,326
合 計	986,118	合 計	986,118

(注1) 収入の部、支部総会収入は、平成30年5月16日開催分、参加者29名分。
(注2) 支出の部、支部総会経費は、全幹事総会経費にトス。

財産目録 (H31.3.31)			
種 別	預 入 先	金 額	備 考
普通預金	福岡銀行 渡辺通文庫	342,040	
合 計		342,040	

監査報告
収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

平成31年4月26日

会 計 監 査

寺嶋 知 憲

九州北部支部連絡先

九州電力株式会社火力発電本部
域外電源開発室事業開発グループ

寺嶋知憲

〒810-8720

福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号

TEL

092(761)3031

メールアドレス

Tomonori.Terashima@kyuden.co.jp



藤永支部長のご挨拶

九州

SOUTH
KYUSHU

南部

支部



岡田知弘特任教授の
ご講演
会計報告書

京都大学経済学部同窓会九州南部支部
平成30年度 九州南部支部 会計報告書

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
九州南部支部会費収入	161,000	支部総会経費	233,828
支部活動振助金(本部より)	150,000	通信費	11,465
預金利息	3	事務費	7,107
(小計(30年度収入額))	311,003	(小計(30年度支出額))	252,400
前年度繰越金	354,491	剰余金(次年度繰越金)	413,094
合計	665,494	合計	665,494

(注1) 収入の部、支部総会収入は、平成30年7月21日開催分、参加者23名分
(注2) 支出の部、支部総会経費のうち、振替会費182,000円

種別	預入先	金額(円)	備考
普通預金	鹿児島銀行坂之上支店	413,094	
合計		413,094	

上記について監査の結果相違ありません。
令和元年7月5日

会計監事

今別府 忍

〇講話

岡田知弘氏より「京都大学経済学部百周年 歴史秘話」と題してご講話いただいた。1899年の京都帝国大学法科大学設立とともに早くも経済学関連講座が開設され、田島錦治、戸田海市、神戸正雄、河上肇などの若手教官が着任した草創期、1915年7月に創刊された『経済論叢』が大人気を博したり、1919年には法学部から経済学部が分離独立して経済学会が発足したりするなど「経済学の新しいメッカ」として教育・研究活動に大きな発展が見られた隆盛期、河上肇の「辞職声明」(1928年)や文部省による思想統制の強化が行われた暗転期、戦時体制下における経済学部の拡充と戦争協力期、そして河上肇の死をきっかけとした経済学部「総退陣」と教官協議会誕生の戦後等々、圧倒的な実証性のもと当時の社会情勢まで含めてわかりやすくお話をしていただき、会員一同も貴重な講話内容を一言も聞き漏らすまいと熱心に聞き入っていた。

懇親会では、丸元貞夫理事(昭和38年卒)による挨拶の後、役員や会計など支部運営に関する事項の確認ならびに報告がおこなわれた。引き続き、京都大学名誉教授・特任教授(京都橘大学現代ビジネス学部教授)の岡田知弘氏から京都大学経済学部の現況について、また同窓会事務局の田村利恵氏から同窓会の近況などについてそれぞれ報告していただいた。

〇総会

第23回九州南部支部総会は令和元年7月6日(土)、宮崎市のホテルメリージュで開催された。直前の九州南部大雨により開催が危ぶまれたが、18名の会員に出席していただき、有意義な時間を過ごすことができた。



2019年7月6日 於：ホテルメリージュ

〇懇親会

懇親会は、海江田順三郎氏(昭和28年卒)の挨拶の後、経済学部

「総退陣」と教官協議会誕生の戦後等々、圧倒的な実証性のもと当時の社会情勢まで含めてわかりやすくお話をしていただき、会員一同も貴重な講話内容を一言も聞き漏らすまいと熱心に聞き入っていた。

九州南部支部 菊地裕幸(平成7年卒)

100周年を記念して、ひむかオペラの会の後藤紀子氏ならびに柳田啓志氏による「乾杯の歌」で開宴。例年以上に優雅で華やかな雰囲気の中、出席者それぞれの近況報告や学生時代の思い出話、今後の展望など、酒を交わしながら歓談に花を咲かせた。今回、村上幸太郎氏(平成19年文学部卒)が初参加された他、元宮崎市長の津村重光氏(法学部卒)も出席され、大いに会を盛り上げていただいた。終了間際には全員で「琵琶湖周航の歌」を合唱し、次年度の再会を誓い合いながら盛会のうちに幕を閉じた。なお、今回の総会を開催するにあたり、宮崎県理事の宮本智司氏(昭和54年卒)、岡野徹氏(昭和38年卒)、村上幸氏(平成5年卒)、阪本博志氏(平成10年文学部卒)の各氏には多大なるご支援ご協力を賜りました。厚く御礼申し上げます。

平成30年度

同窓会総会報告

平成30年10月13日（土） 京都大学百年時計台記念館国際交流ホールにて、平成30年度同窓会理事会・総会が開催されました。

理事会には小塚修一郎会長、宇野輝副会長（東京支部長）、槌野吉郎副会長（近畿支部長）、合田隆年理事（東京）、岡野徹理事（東京）、田中義雄理事（近畿）、柿本壽明理事（東京）、河合司理事（近畿）、河毛正志理事（東京）、近藤勝重理事（東京）、野尻賢司理事（近畿）、古川博理事（近畿）、相京重信理事（東京）、麻生純理事（近畿）、室賀博幸理事（名古屋）、梶原正秀理事（愛媛）、磯村辰生理事（名古屋）、中井敏宏理事（近畿）、宮本智司理事（九州南部）、高塚達彦理事（名古屋）と経済学部教員9名の計29名が出席しました。理事会は小塚会長、江上理事長の挨拶で始まり、「平成29年度事業報告及び決算」と「会計監査報告」、「新本部役員



小塚同窓会長のご挨拶



選出」、「平成30年度予算案」を審議のうえ承認しました。

続いて懸案であった同窓会の名称について議論されました。名称アンケートの結果、338通の回答のうち、無回答が289通、現状の「京都大学経済学部同窓会」のままでよいとする意見が29通ありました。具体的な新名称案はすべて合計しても21通にすぎないことが田中彰教授（本部常務理事）より報告されると、この理事会で候補を絞った上、もう1年間かけて新名称を決定するとしてきた計画を変更し、この場で決定してはどうかとの提案が小塚会長からあり、それを支持する発言が相次ぎました。審議の結果、大多数の支持により「京都大学経済学部同窓会」を正式名称とし、別名「経済学部同好クラブ」を規約から削除することを理事会提案として総会に諮ることを決定しました。

続いて講演会では、まず優秀修士論文賞を受賞された博士後期課程1回生（当時）の天野良

天野良明さん
優秀論文発表

弦楽四重奏のみなさん

明さんに、国際会計基準が企業経営にもたらす影響についての研究成果を発表していただきました。そして江上雅彦教授（学部長・同窓会理事長）の講演会がおこなわれ、「To Stop or Not to Stop... 確率と止め時問題」と題して卑近な例を引きながら最新のファイナンス工学理論の一端が紹介されました。総会は武石彰教授を議長として遅滞なく進み、決算・予算、新役員、および同窓会名称に関する理事会提案のすべてが賛成多数により承認されました。集合写真撮影の後、司会の田中教授



江上教授のご講演



平成30年10月13日 於：京都大学百周年時計台記念館2F国際交流ホール



槌野様（近畿支部長）のご挨拶



池上名誉教授の乾杯のご挨拶

による開会の辞で懇親会が始まり、槌野近畿支部長より開会のご挨拶を、池上名誉教授より乾杯のご挨拶とご発声をいただきました。

京大交響楽団の富永扶さん（文学部3回生、第一バイオリン）、近藤綾さん（法学部4回生、第二バイオリン）、寺川洵さん（文学部4回生、ヴィオラ）、学年はいずれも当時）、安井里沙さん（京都薬科大学、チェロ）には、すばらしい弦楽四重奏で懇親会に花を添えていただきました。お食

事・ご歓談中には心地よく聴いていただけのBGMを奏でていただき、和やかな雰囲気の中でゆつくりと時間が過ぎていきました。会の終盤には、ステージで演奏していただきました。依田高典教授（京大交響楽団部長）によるメジャー・曲紹介では、この年のノーベル生理学・医学賞を受賞された本庶佑特別教授も京大オケOBであることが紹介されました。曲はブラームスのハングリー舞曲第五番。よく知られている名曲ですが、生演奏は迫力が違います。参加者の皆様も静かに聴き入っておられました。盛大な拍手とともにアンコールのお声があり、また違った雰囲気「川の流れるように」（作曲：見岳章）を演奏されました。その後、江上理事長の開会の挨拶をもって盛会のうちに閉会となりました。

なお、参加者全員に記念品として同窓会オリジナルミニノートとオリジナルボールペンをお持ち帰りいただきました。平成30年度総会の様子はホームページ



ジの「イベント案内」からご覧いただけます。今年度は令和元年10月19日（土）に、京都大学経済学部創立百周年記念式典（表紙見開き参照）の一環として理事会・総会を開催いたします。皆さまにお会いできますことを楽しみにしておりますので、ぜひご参加ください。

（同窓会事務局）

在学生イベント！2019



講演者の藤井さん

【講演会】
講師は平成21年にご卒業され、現在は住友商事様にお勤めの藤井翔さんです。「住友商事における私の働き方とキャリア」と題し、チリ駐在時代の経験などをユーモアたっぷりに語っていただきました。現地では数少ない日本人スタッフとして文化の違いを肌で感じつつ、お金をもらうことの意味や自分の仕事の意味を深く考えることになり、帰任時には現地の皆さんに盛大な

令和元年7月4日（木）、時計台記念館国際交流ホールにて、「在学生イベント！2019」を開催しました。同窓会の学生特別会員に登録された学生の皆さんをご招待し、在学中から同窓会を身近なものに感じてもらいたいという趣旨でおこなっています。社会で活躍中の先輩の講演会や、異なる回生・教員との交流パーティで、今回も賑やかな会となりました。



若林先生



江上先生

【パーティ】
江上雅彦学部長のご挨拶に続き、若林直樹教授の乾杯のご発声によりパーティが始まりました。着席形式のため、リラックスしてお食事を楽しんでいただきます。恒例の「みんなでクイズ」は、その場で組んだチームで四択問題を出し合い、1〜3位の景品を争奪する全員参加型のクイズ大会です。学生さんだけでなく教員も参加し、良いコミュニケーションの場になりました。最終問題で大逆転があり、1位のチームが、ボトルブレンダーを獲得しました。



藤井さんとともに

送別会を開いてもらったそうです。依田教授の司会進行による質疑応答では、参加者から「相手の心をつかむコミュニケーション」で意識することは何ですか」などの熱心な質問が数多く寄せられました。



続くビンゴゲームでも、バリスタやスチームアイロンなどの景品を前に今回も盛り上がりしました。残念ながら景品を獲得できなかった皆さんには記念品として同窓会オリジナルボールペンを進呈しました。

最後に全員で記念写真を撮影し、お開きとなりました。まだ参加されていない方は是非一度ご参加ください。お待ちしております。

学生企画委員の上林山大吉君、下垣敦宏君、吹田雄河君、高尾彩瑛子さん、中沢和哉君、堀悖平君、森原のどかさんに、企画からTwitter等による宣伝、当日の準備・運営・片付けまでお手伝いいただきました。また、江上学部長、依田教授、田中教授、舟津特定助教、安井准教授、山田教授、ルースダン講師、若井教授、若林（直）教授にもご参加いただきました。厚く御礼申し上げます。

（同窓会事務局）



来年もお待ちしております。

令和元年7月4日 於：京都大学百周年時計台記念館

京都大学 経済学部 卒業50周年記念同窓会

昭和32年卒業の方から始められた経済学部卒業50周年記念同窓会も今年で13回目となり、我々44年卒の番となりました。

五月晴れに恵まれた同窓会当日の令和元年5月23日（木）13時には88名（同伴者1名を含む）の仲間が全国各地から集まりました。

来賓として江上雅彦学部長、山田浩之名誉教授、池上惇名誉教授、同窓会常務理事の田中彰教授、事務局の田村利恵さんのご出席を得てE1中博君の司会で始まりました。

物故者32名の黙祷を行いE3野尻賢司君の開会挨拶の後、江上学部長から祝辞を頂戴しました。

着席形式パーティーも山田名誉教授の乾杯及び挨拶が始まりましたが、ゼミ単位のテーブルも徐々に崩れ、あちらこちらに楽しい輪が広がりました。写真撮影はE3網干佳壽郎君、合唱指揮はE1海上正彦君と、山下千之君にお願いし、全員で「学歌」・「逍遙の歌」・「琵琶湖周航の歌」を斉唱しました。

最後の閉会挨拶はE3安枝真司君につとめていただき、和気あいあいの旧交を暖める楽しい3時間はあっという間に過ぎていきました。

このような同窓会への取り組みは1年余り前からの名簿の作成でした。ただ

やはり名簿作成作業には難航しました。

過去の名簿を照らし合わせても連絡先が分からない人も多く、出身高校、元の勤務先等の伝手、同級生各位の協力を得ながら何とか10月末にはほぼ名簿作成作業を終了しました。その後案内状及び出欠の確認ハガキを11月に発送し、2月には出席予定者がほぼ確定していました。

ところが式まで1ヶ月の4月にそれまで名簿作成、京大との交渉をしていただいた世話人代表E2河毛正志君が脳梗塞で入院されました。急遽E3野尻賢司君とE2西谷が引き継ぎました。5月14日に京大生協と打ち合わせ、料理、配置、設営等を決めました。その日に大学の同窓会事務局に於いて当

日の打ち合わせを相談しました。その時大変助かりましたのが同窓会事務局から提供された「50周年同窓会マニュアル」と前年度の記録、チェックリストでした。おかげさまで名札作成、当日配布物封入等順調に行えました。

今回も昨年同様、参加者全員に総長方レ、聖護院ハツ橋のお土産をお渡ししました。今回の剰余金も約8万4千円を経済学部同窓会に寄付することが出来ました。又、出欠にかかわらず返信ハガキの通信欄を印刷し、「光陰矢の如し、卒業して50年、今、思うこと」の小冊子をお渡しし好評でした。各クラス毎に二次会をがんこ二条苑で行いました。

最後にこのように楽しい一日を無事過ごすことが出来ましたこと、ご出席いただいた同級生各位及び江上学部長を始めとする学部関係の方々に改めて感謝申し上げます。

文責 E2 西谷和浩



卒業50周年記念

同窓会開催のお知らせ

日時：2020年5月28日（木）
午後1時～4時（予定）

会場：京都大学百周年時計台記念館
2階国際交流ホール

会費：1万円（当日申し受けます）

以上、クラス単位の懇親会（夜）も
予定しております。

詳細は後日、皆様にご案内します。

※ご案内状が届かない場合は
お知らせください。



全員で記念写真！ 皆元気いっぱい！

大学院改革

高度専門人材養成
プログラムを新設

大学院教育改善WG主任 武石 彰

経

経済学研究科は、2019年度より修士課程を改編し、二つのプログラムを開設しました。①博士後期課程に進学し、研究者になる人材を養成する「研究者養成プログラム」と、②専門的かつ実践的な経済学的分析能力を身につけて社会で活躍する人材を養成する「高度専門人材養成プログラム」です。

「研究者養成プログラム」(通称、「Rプログラム」)は、経済学研究科が研究者養成のためにこれまで長く取り組んできたことを継続していくものです。経済学・経営学の分野において国内外で活躍できる研究者を少数精鋭で、丁寧に、組織的に養成していくことを目指し、(2021年度に実施を予定している)博士後期課程の制度変更とあわせて、研究指導のあり方やカリキュラムを改編しました。

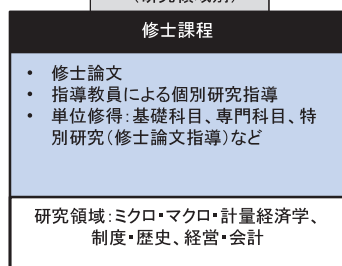
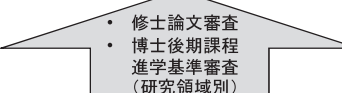
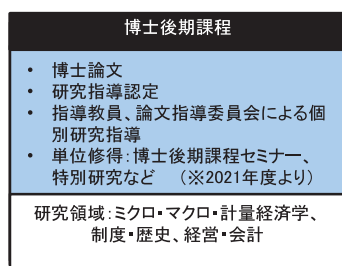
「高度専門人材養成プログラム」(通称、「Pプログラム」)は、新たに立ち上

げたものです。修士課程修了後、国内外の社会で活躍できる人材を養成することを目指し、経済学に基づく高度で実践的な思考・分析能力を体系的に修得するとともに、データ解析、グループワーク、英語によるコミュニケーションに関する能力を高めていくためのカリキュラムや指導体制を整えました。両プログラムとも、本年4月に新しい学生を迎え、順調に立ち上がっております。2009年から実施している、英語を共通言語とする秋入学の「東アジア持続的経済発展研究コース」や、新たに整備している欧州の大学とのダブルディグリー・プログラムやジョイントディグリー・プログラムなど、国際的な取り組みも進めております。各プログラム/コースを質的に拡充しながら、国内外の社会、学術界に貢献できる優れた人材を養成していきたいと考えております。

経済学研究科プログラム、コース

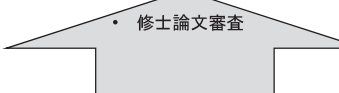
【研究者養成(R)プログラム】

修士課程、博士後期課程の教育研究を通じて、経済・経営における諸活動を科学的に分析し、国内外の社会経済の様々な課題の解決に寄与する研究者を養成する



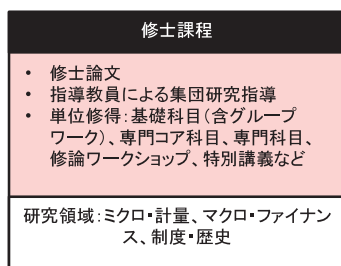
【東アジア持続的経済発展研究(EA)コース】

修士課程、博士後期課程の教育研究を通じて、経済・経営における諸活動を科学的に分析し、日本や東アジアの社会経済の様々な課題の解決に寄与する研究者、高度専門職業人を養成する(英語を共通言語とする秋入学プログラム)



【高度専門人材養成(P)プログラム】

修士課程の教育研究を通じて、経済学に基づく高度な専門知識を備え、国内外の社会の期待に応えられる高度専門職業人を養成する



Club & Circle

introduction

探検部



モンゴル単騎旅行にて

探検部は、「全世界（国内も含めて）の広い意味での未開地帯の（学術的）探検を計画し、実行またはそのために必要な技術や知識を身につけようとするもののグループ（組織）である」として1956年に設立されたサークルで

す。今では地上には未開の地というのはほとんどなく、当時の理念のまま活動しているとは言い難いですが、学術的な意識をもってアウトドアを行っているところが他のアウトドアサークルとの違いかもしれません。部員のバックグラウンドは様々ですが、

植物や地質、文化人類学などに興味をもってアウトドア活動をしている部員が多いです。具体的には何をしているのか

というと、登山やクライミング、沢登り、カヌー、洞窟、海外渡航などが主な活動です。というのが定番の説明ですが、必須の活動はなく各自がやりたいことをやるサークルなのでどんな活動をしているのかは部員によって様々です。

例として私の活動履歴を紹介しますと、1・2回生のと

きは登山ばかりで、2回生の夏には二週間以上かけて北アルプスを日本海まで縦走しました。その縦走で山と人間には一旦満足したので、3回生では個人で活動を行い、夏には「おもしろチャレンジ」に採択されてブラジル・アマゾンに行きました。「おもしろチャレンジ」というのは鼎会の援助のもと京大が行っているプログラムで、採択されると30万の渡航資金がもらえるという非常にありがたいものです。探検部員も虎視眈々とこれを狙っており、今までに5人以上が採択されています。ブラジルでは想像以上に広い土地とぼったくりにはばまれて当初の予定よりは活動できませんでした。が、独自の宗教を信仰している奥地の村などにたどり着くことができ、とても楽しく、有意義な渡航になりました。4回生はかねてから待ち望んでいた休学をし（1回生の入部時に部員の半数以上が休学していて、「休学はお得でしかない」と力説されたのに感動して、私もいつかは絶対に...と思っていました、一人で無人島にいったり自転車旅行をしたりとのんび

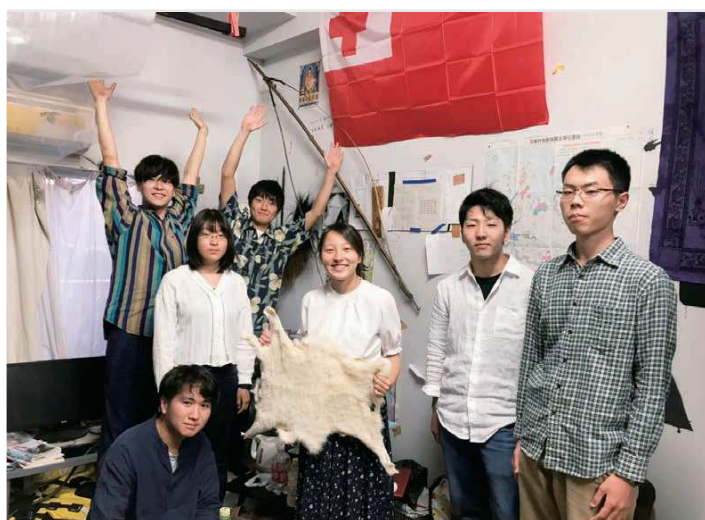
り暮らしていました。今は5回生ですが、単位取得と卒論の執筆に追われているので今年に入ってしまったアウトドアといえば大文字山での山菜採りくらいで、本格的なアウトドアは難しいそうです。しかし、卒業前の春休みにはブラジル・アマゾンに再挑戦したいと考えているので、いまから計画をねってはワクワクしています。

経済学部 5回生

大石 菜々野



北アルプス稜線にて



探検部（部室にて）

同窓会へのご寄付について

御 礼

令和元年5月に行われました 昭和44年卒の「卒業50周年記念同窓会」にご参加の方々より84,060円をご寄付いただきました(22号27ページに掲載)。寄付金は100周年記念事業準備費の一部として使用させていただきます。この場をお借りし、ご寄付いただきました皆さまへ厚く御礼申し上げます。

経済学部同窓会では、同窓会等で余ってしまったお金をご寄付いただきますと大変助かります。もちろん、使用目的・用途を明確にし、ご寄付いただきました方々の卒年・クラス名等を記載して、皆様に会報やホームページ等でお伝えしたいと思っております。

同窓会を運営していく上で会費納入率も減少しており、財政的にも非常に苦しくなっております。皆さまのご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

※会報への掲載は強制ではありません。(ご相談に応じます)
可否については必ずお伺いしておりますのでご安心ください。

ご寄付の方法

同窓会事務局へ

TEL・FAX・メールにてご連絡をお待ちしております。

TEL/FAX 075-753-3419

Email dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp

同窓会年会費 納入のお礼とお願い

御 礼

昨年度(平成30年4月～平成31年3月)の年会費を納入していただきました皆さま方には、いつも同窓会の運営につきまして、ご理解ご協力賜わり、心より御礼申し上げます。

お願い

令和元年度(平成31年4月～令和2年3月)の同窓会年会費5,000円を同封の払込用紙をご覧の上、納入くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。平成27年に発行した卒業生名簿により、同窓会の剰余金が少なくなっております。

ご理解の上、何卒ご協力賜わりますよう、お願い申し上げます。

「名簿リスト」の提供サービス

平成29年度と同窓会理事会・総会において、個人情報保護の観点から「卒業生名簿」の発行を当面見合わせる旨の決定がなされ、平成30年発行の同窓会報21号で皆様にご報告いたしました。経緯および決定に至った詳細につきましては会報21号(前号)の27ページをご参照ください。

その折にもお知らせしましたが、「卒業生名簿」配布に代わるサービスとして、同窓会事務局で管理している「名簿リスト」(ゼミ単位、卒業年単位)を送付いたします。ただし、このサービスは年会費を納入いただいている方のみとさせていただきます。

ご利用目的をご連絡いただき、ご本人確認ができましたら、郵送にて送付いたします。

同窓会事務局では皆様のご協力のもと、常に名簿データをアップデートしておりますので、5年ごとに発行してありました「卒業生名簿」と比べ、より新しく正確なリストを提供することができます。

つきましては、このサービスによる「名簿リスト」に住所・電話番号等、個人情報の掲載を希望されない方は、同封の「名簿調査ハガキ」の非公開に○を付けていただき、ご返送をお願いいたします。ご要望、ご質問等ございましたら、同窓会事務局までご連絡をお願いいたします。

会報第23号への記事募集

今回の同窓会報に掲載する記事を募集しております。ゼミ会、クラス会などのお知らせ・報告、また同窓会活動・京都大学経済学部に関係のある記事等がございましたら、ご遠慮なく原稿をお寄せください。できればお写真を添えてください。学校に関係のない記事でも一度ご相談ください。お問い合わせは、経済学部同窓会事務局まで。

ご注意ください！

数年前に、ある出版業者から卒業生の元へ、『職業別同窓名鑑(文学部・経済学部)発刊のお知らせ』と題する往復ハガキが届いたという事例がありました。これは、最新の個人情報の提供と同窓名鑑の購入を呼びかけるものですが、この出版業者と京都大学経済学部および経済学部同窓会は一切関係がございません。今後も業者名を変えて、同様の手段で個人情報の提供や名簿購入の依頼等が届く可能性があります。返事や振り込み等をなさらないように十分ご注意ください。

経済学部同窓会からの正式な郵便物には、京大のロゴマークを印刷するようにしております。ロゴマークがない等の不審な郵便物が届いた場合は、経済学部同窓会事務局までご遠慮なくお問い合わせください。

京都大学(文学部・経済学部) 職業別同窓名鑑

〒160-0001 東京都文京区千石 1-10-1 京都大学

TEL: 03-5841-5111 FAX: 03-5841-5112

※ 本名簿は、卒業生・在校生の個人情報を掲載するもので、個人情報の取り扱いに厳格に管理されています。ご記入の際は、必ず「個人情報の取り扱い」欄に「同意」の欄に○を付けてください。

※ 本名簿は、卒業生・在校生の個人情報を掲載するもので、個人情報の取り扱いに厳格に管理されています。ご記入の際は、必ず「個人情報の取り扱い」欄に「同意」の欄に○を付けてください。

※ 本名簿は、卒業生・在校生の個人情報を掲載するもので、個人情報の取り扱いに厳格に管理されています。ご記入の際は、必ず「個人情報の取り扱い」欄に「同意」の欄に○を付けてください。

中村 哲ゼミ 中村哲先生の米寿お祝いの会

2019年4月27日（土）、京都大学百周年時計台記念館において中村哲先生の米寿お祝いの会を開催いたしました。中村ゼミ同窓会は1995年に先生が停年退官された後も定期的に同窓会名簿を編集発行してきました。最新2019年版には250名余りが登載され、そのなかには京大経済学部の名誉教授・教授も5名含まれています。ゼミ会の開催は2008年の喜寿お祝いの会以来となり、当日は学部・大学院ゼミ卒業生計39名が集結。はるばるアメリカ、中国、韓国から駆け付けた同窓生もいました。

中村先生があいさつの後、同



窓会実行委員の渡哲郎氏（昭49年卒）によって有無をいわず金色のちゃんちゃんこを着せられると、会場は一気に盛り上がりました。

下谷政弘名誉教授が開会あいさつと乾杯のご発声により祝賀会を開始。司会の塩地洋教授の指名により出席者が次々と登壇し、ゼミでの山登りやコンパ、難解な古典に苦しんだ思い出とともに近況が紹介され、先生のご健康を祝しました。終盤では森宏明氏（昭58年卒）のボート部仕込みの巧みなリードにより、輪になって「琵琶湖周航の歌」を合唱しました。邵微さん（大学院OG）らの花束・贈り物贈呈の後、堀和生名誉教授が開会あいさつに立ち、あらためて中村先生が東アジア経済史研究に果たされたお仕事の大きさが紹介されました。おひらきのさいには中村先生が最新のご高著『東アジア資本主義形成史論』（汲古書院、2019年）を参加者一人ひとりに手渡しされました。

文責 田中彰（平成2年卒）



山田 浩之ゼミ 京友会

2018年9月23日（日）、山田浩之ゼミ同窓会「京友会」が、東京の学士会館で開催されました。先生ご夫妻がお元気な間に出来るだけ開催するべく昨年に続いての開催で、先生ご夫妻を含め各地から前年を上回る62名の出席を数えました。

会は2部構成で、第1部は先ず山田先生の近況報告。86歳の今もご自身が主催されている「都市文化・地域経済研究学堂」を毎月開催されるなど研究に勤しんでおられ、新たな著作出版にも意欲を示されて、ゼミ生一



同感銘とともに圧倒されました。次いで近時に博士号を取得したゼミ生から取得論文の概要報告、春の叙勲で授章の栄に浴されたゼミ生2名の披露がありました。

第2部の懇親会は1期生の藤井睦久さんの乾杯音頭で始まり途中若手の近況報告を挟みながら和やかな雰囲気での懇談の輪が広がり最後2期生の岡本昂さんの締めで盛況のうちに閉会を迎えました。

なお、これに先立つ7月28日（土）

に京都で都市文化・地域経済研究学堂と京友会合同で「第80回文化の社会経済研究会」および「叙勲祝賀会」が開催され多くの山田ゼミ生が参加しました。

次回の山田ゼミ同窓会「京友会」は先生の米寿記念同窓会として2019年10月20日（日）12時半から京大百周年時計台記念館国際ホールにて開催されますので多くの皆様の参加をお待ちしております。

谷口浩章（昭和43年卒）



小野ゼミナール同窓会「一一会」は、2017年から、東西2組で開催していましたが、2018年は故小野一一郎先生の23回忌に当たることから全国250名の会員を対象として、12月2日、先生の奥様宣代さま（満93歳）をお迎えして、奈良の春日ホテルで開催されました。

当日は、正会員及び特別会員合わせて71名が集まり、奥様、長男憲一さんの奥様ちとせさん、お嬢さんの加藤曜子さんを囲んで楽しい2時間半となりました。

会合は、小野先生およびゼミ生の物故者へ黙禱をささげた後、第1期（昭和37年卒）の安藤哲生さん、特別会員の岡澤元大さんから祝辞があり、特別参加の経済学部岩本学（前）部長からは小野ゼミ生への祝辞と学部100周年記念事業への協力要請が、加藤曜子さんからはお礼の言葉と、彼女が理事を務めている認定NPO法人「児童虐待防止協会」への支援要請があり、続いて3期の出原隆乗さんによる乾杯の

音頭で始まりました。

しばしの歓談の後、5期の吉村さんから、一一会の現状について話があり、現在、一一会メンバーが三菱商事や大阪ガス（株）、熊谷組の一部上場企業3社の社長に就任していることが報告されました。同時期に3社の社長を輩出していることは経済学部だけでなく全学的にも事例のない事ではないかと思われ、鋭い批評眼に加え、学生の多様な意見を受け止め、その長所を伸ばす教育をされた小野先生の教育者としての凄さの一端を示すものではないか思考する次第である。



その後は各メンバーから順に近況報告や先生の思い出、奥様の事など、例によって多種多彩な議論が続きました。最後に、奥様から全員に対して力強い励ましのお言葉をいただき、3期の今村さんの指揮で「紅もゆる」を合唱して閉会となりました。

なお、今回の会合は8期の安枝さんや24期竹内さんをはじめ関東、関西の多くのゼミ生の助力、協力があったのはじめて成功裏に終わったことを感謝し、追記します。

2019.3.30 報告：野口隆（5期）

小野ゼミ 東京一一会の活動報告

第3回目となる東京一一会を、昨年8月2日に開催致しました。

東京一一会とは、小野一一郎先生のゼミ生が関東地区で集まる会合ですが、前回は、2016年2月にゼミ第18期生の垣内威彦さんの三菱商事の社長就任を祝して催したのですが、今回は第20期生の櫻野泰則さんの熊谷組社長就任を祝う為にゼミ生に呼び掛け集まったものです。

下記にその会合の様態を簡単に報告申し上げます。

- ・第3回東京一一会
- ・日時：2018年8月2日（木）
18：30～20：30
- ・場所：学士会館
- ・小野ゼミ第5期～24期（昭和41年卒～昭和60年卒）のゼミ生計31名の参加を得ました。

同会合の進行役は、私、安枝が務め、東京一一会についてその来歴を説明。

次いで、ゼミ同窓会の元締め役を



務めて頂いている第5期の吉村昭道さんより一一会の沿革につきご紹介頂き、更に、京都大学学士山岳会やその他大学関連の最近の動きについてもご紹介頂きました。引き続き、第5期の木村直さんに乾杯の音頭を取って頂き、会食が始まりました。

会がたけなわとなったところで、櫻野さんにスピーチをお願いしました。ご本人は4回生からの小野ゼミ参加であること、熊谷組野球部での体験、今後の抱負、等につきお話があ

りました。別会合の為、遅れて参加した垣内さんからは社長職の先輩としての自分の心得的なスピーチを頂きました。尚、初参加者が6名あり、各位に自己紹介をかねたスピーチをして頂きました。今回は、前回を上回る参加人数であり、着席式ビュッフェスタイルとしました。

今後も機会がある度に会合を呼び掛けたいと思っております。

報告者：安枝真司

小野ゼミ第8期生（昭和44年卒）

菱山ゼミ 「十三回忌追悼菱山会」開催報告



平成最後の年の3月2日(土)、「十三回忌追悼菱山会」を開催いたしました。

まずは午前中に南禅寺牧護庵にて墓参、そしてお昼より楽友会館にて懇親会。

お墓参りは好天に誘われるように予定の時刻より早く来られる方が圧倒的に多く幹事とサポートチームもそれを見越して30分前よりスタンバイして無事終了。

楽友会館に到着後途中退席の方もいるということでもまずは写真撮影。

そしていよいよ開会。一同故菱山泉先生に黙祷を捧げ、最も先輩の松原武さん(39年卒)よ

りの開会のご挨拶、親族代表としてわざわざ来ていただいた菱山出さん(ご長男)のご挨拶、そして昨年京都大学経済学研究科長並びに経済学部長に就任された江上雅彦さん(59年卒)のご講演と続けました。

その後、今回は先生がご自宅でご家族とカラオケを楽しんでおられる様子等が収録されているDVDを菱山出さんのご厚意でお貸しいただき、在りし日の先生のお元氣なご様子を

それぞれの思いを巡らせながら拝見し懐かしい時間を過ごしました。

そして、菱山先生の研究を引継がれた黒木龍三さん(59年院卒)による献杯、木村泰彦さん(41年卒)奥田久美さん(49年卒)三浦知雄さん(62年卒)よりのお話、最後に経済学部同窓会東京支部長の宇野輝さん(41年卒)からの本年の経済学部100周年に向けてのお話をいただき、恒例の「琵琶湖周航歌」を江南壽夫さん(40年卒)と古賀康太さん(40年卒)の音頭で斉唱し閉会となりました。

参加者42名、快晴、意気軒昂、盛会でした。

報告者(本会幹事)：

吉村宗一(54年卒)

清水俊晴(55年卒)

荒木隆司(56年卒)

伊東光晴ゼミ 光晴会



今年の伊東光晴ゼミOB会は、5月11日(土)に東京市ヶ谷の私学会館アルカディアで市ヶ谷にて開催した。参加者は伊東先生に加え、学部OB 5期28名と大学院OB 2名であった。OB会は長い間開催されていなかったが、残念ながら松田誠氏(4期、平成2年卒)がご病気により急逝されたことをきっかけに2015年に再開

された。それ以降はほぼ毎年春にアルカディアで開催している。

初めに一期生の磯村和人氏(1期、昭和62年卒)が挨拶をした。

氏は伊東ゼ

ミは少数であるが、OB会の出席率は6割近くと極めて高いことを指摘した。実際、学部OBは全部で54名しかいないが、例年の出席者は30名近い。続いて女性活躍で知られている絹川(旧姓岡田)幸恵氏(2期、昭和63年卒)が乾杯の挨拶をした。京都大学教授のOB 3名は東京で仕事があり、遅れて到着した。そのうち、

岡敏弘氏(大学院OB)は今年から赴任ということで、赴任に際しての挨拶をした。

岡氏に続き、伊東先生がお話しにいられた。経済学は理論だけではダメであり、ファクト・ファインディングが必要だ。今の経済学は新しいことがないと、以前からの主張を述べられた。また今のヨーロッパでは、難民問題によって、ヨーロッパの心、リベラルの心が崩壊しようとしていると語られた。先生はすでに90才を超え、さすがに体の衰えは隠せないが、経済学者、知識人としての知性と熱き心は、京都大学教授時代と変わりが無い。

その後、各期の近況報告を簡単に行った。最後の挨拶は、京都大学教授の岩本武和氏(大学院OB)が行った。最後に全員で写真を撮った。

文責：服部茂幸(2期、昭和63年卒)

京都大学経済学部同窓会 会員の皆様

京都大学同窓生向けサービスご登録のお願い

時下、同窓生の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本学では、ノーベル賞受賞などの最新情報や、ホームカミングデイのご案内などのイベント情報を皆様に直接お届けするため、「京都大学同窓生向けサービス」へのご登録をお願いしております。

昨年にも、貴同窓会の皆様にはご登録をお願いしましたが、登録者数はまだ1割程度と少ない状況です。ご登録がお済みでない方は、ぜひこの機会にご登録くださいますようお願いいたします。

京都大学同窓生向けサービスの詳細につきましては、チラシを同封しておりますので、ぜひご覧ください。

このサービスを通じまして、同窓生の皆様にいつまでも身近な存在として京都大学を感じていただければ幸いです。

令和元年 8月 吉日

京都大学総長

山極新二

住所不明にならないために

特にご実家から転居される方、転勤の多い方は必ずお読みください

経済学部同窓会では、卒業生の皆さまの連絡先をアップデートし、卒業後の長いお付き合いを支援していきたいと思っています。転勤の多い方等はどうしても住所のアップデートが難しく、住所が不明になってしまうことも少なくありません。そこで一度だけ手続きをしていただければ同窓会報を確実に受け取れる方法をご紹介します。

ご実家から転居される際、ほとんどの方が郵便局へ転居届を提出されます。しかし通常の方法では1年間の転送サービスが終了すると、ご実家に差し出されたご本人宛の郵便物は、ご家族が住んでおられても届けてもらえません。以下の方法により、ご実家宛ての郵便物も転居先への郵便物も必ずどちらかに配達してもらうことができます。住所不明にならないために、ご協力をお願いいたします。

①ご実家から転居する時に転居届けを出される方

転居届（右図参照）の**新住所の欄**に居住されるご住所をご記入ください。

旧住所の欄には何も記入しません。

ご実家の住所を旧住所欄に絶対に記入しないでください。

旧住所の欄

②すでに転居届を出されている方

追加で転居届をご提出ください。

新住所の欄にご実家の住所を書いてください。

旧住所の欄には何も記入しません。

（すでに提出された転居届はそのままだしておいてください）

※①②の方法は、現住所に住んでいても、ご実家の住所から名前が消されないためご実家にも届くという仕組みです。ご実家でなく現住所に届けて欲しい場合は、これらの手続きは必要ありません。その際は必ず現住所を同窓会事務局までお知らせください。

新住所の欄

③転居届を出す時間がない方（ご実家にお届け）

どうしても転居届を提出する時間のない方は、ご実家に住まれている方（基本的にはご両親のうちどちらか）のフルネームを同窓会事務局までお知らせ下さい。

※新システム導入により③の方法が可能となりました。

ご注意

卒業後、下宿先から転居される場合は、**旧住所の欄**に退去する下宿先名をご記入ください。（次の入居者が困られます）

新住所の欄に書かれた住所を必ず同窓会事務局までお知らせください。

※上記はいずれも郵便局に確認済みです。①②の方法により、ご実家に郵便物が届きましたら、その郵便物に（ご実家の住所が隠れるように）ご本人様の現住所を貼付の上、ポストに投函すれば無料（切手不要）で転送も可能です。



平成から令和へと新しい時代が幕を開けた記念すべき年に京都大学経済学部が創立100周年を迎えるということは、偶然とはいえ何か意味があるように感じてなりません。

今回100周年記念号（会報第22号）を発行するにあたり、特集ページの作成をしていく過程で、昔の写真や資料を拝見していると、私が知らない100年におよぶ経済学部の歴史がたくさんあり、今も変わらぬ姿で存在しているものさえあることにとっても驚きました。また、現在の経済学部同窓会がこれまで存続してきた背景には、同窓会を支えて来られた方々の努力や母校への大切な想いがいっぱい詰まっているのだということを、あらためて感じる良い機会となりました。

京都大学経済学部を卒業された皆様や教鞭をとってこられた名誉教授や諸先生方、現在経済学部で学ばれている学生の皆様、現教職員の方々とともに創立100周年をお祝いできる機会に恵まれたことは、同窓会事務局員である私にとって大変光栄なことであり、本当に嬉しく思います。

ここからは、事務局の最新情報をお伝えいたします。約10年前に導入しましたMicrosoft Accessでの名簿管理システムは、WindowsやAccessがアップグレードしていく中で、多くの不具合が発生するようになりました。そういった不具合に対する修繕にもかなりの時間とお金を要する為、これまで身動きが取れない状況にありましたが、このたび100周年記念事業基金より新名簿管理システム（Webシステム版）を導入していただけることとなりました。Webシステムとした為、MicrosoftがWindowsを頻繁にアップグレードしても不具合が発生するリスクは極端に低くなります。またWebベースである為、ソフトウェアをインストールする必要がなく、短期のアルバイトさんにも使用してもらえるので作業効率も格段にアップします。

これにより同窓会事務局で働く私たちにとって、これまでと比べ効率よく名簿管理の作業が出来るようになります。さらに「名簿リスト」の提供サービスを開始しますので、皆様の同窓会活動に少しでもお役立ていただければ幸いです。経済学部にご寄付いただきました皆様には、この場をお借りして心より御礼申し上げます。事務局スタッフ一同、常に最新情報を保持するため日々努力しておりますので、最新の情報提供にご協力くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

本年4月に経済学部より発送された100周年記念行事のご案内が届いていない方に対しての方策として、この同窓会報でお知らせすることになり、当初は例年よりも発行を2ヶ月早めることに決まりました。そこで7月初めに発行する予定で準備を進めておりましたが、途中で少し事情が変わり8月1日の発行となりました。それゆえ早くに会報の原稿を執筆いただいております方々にはとても不快な思いをさせてしまい、大変申し訳なく思っています。

近年同窓会活動が活発化しておりますのも、元会長・副会長、現在の名誉会長・会長・副会長（支部長）をはじめとする理事や役員の方々、支部事務局の方々、同窓会にご支援いただいている皆様のお力添えの賜です。皆様のご協力なしではここまで続けてこれなかったと思います。心より感謝申し上げますとともに同窓会の更なる発展の為、今後ともお力添えくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

京都大学経済学部同窓会事務局 田村利恵

ホームページについて
会報には掲載しきれないたくさんの方々の支部総会のお写真を掲載しています。ぜひご覧ください。



滝川・田村

ご利用ください！



コモンルームのご案内

ご利用いただける時間

平日(月～金)10時～16時(12時～13時を除く)

法・経済学部東館3階

TEL&FAX: 075-753-3419

T E L ② : 075-753-3508

E - m a i l : dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp



会議スペース (要予約)



コモンルーム全景 (予約不要)



吉田キャンパスへのアクセス

主要鉄道駅	乗車バス停	市バス	市バス経路等	下車バス停
京都駅 (JR/近鉄)	京都駅前	206	「東山通 北大路バスターミナル」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		17	「河原町通 銀閣寺・錦林車庫」行	「百万遍」、理・農は「京大農学部前」、薬は「荒神口」
		京大快速	「京大病院・京大正門前」行	「京大正門前」、医(医学科)・薬は「京大病院前」
河原町駅 (阪急)	四条河原町① 四条河原町②	201	「祇園 百万遍」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		31	「東山通 高野・岩倉」行	「百万遍」、薬は「荒神口」
		3	「百万遍 北白川仕伏町」行	「百万遍」、理・農は「京大農学部前」、薬は「荒神口」
今出川駅 (地下鉄烏丸線)	烏丸今出川	201	「百万遍 祇園」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		203	「今出川通 銀閣寺道・錦林車庫」行	「百万遍」、理・農は「京大農学部前」
		206	「高野 北大路バスターミナル」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
東山駅 (地下鉄東西線)	東山三条	201	「百万遍・千本今出川」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		31	「東山通 高野・岩倉」行	
出町柳駅(京阪)	文・教・法・経済・工は、当駅下車東へ徒歩10分、総合人間・理・農は徒歩15分			
神宮丸太町駅(京阪)	医(医学科)・薬は、当駅下車北東へ徒歩10分、医(人間健康科学科)は、当駅下車東へ徒歩5分			

本部役員名簿

本部役員

本部役職	氏 名	卒業年	所属支部	
名誉会長	和田 紀夫	39	東 京	
会 長	小塚修一郎	47	近 畿	
副 会 長	澤田 博定	30	北 海 道	(北海道支部長)
副 会 長	瀬地 山敏	35	九州南部	(九州南部支部長)
副 会 長	宇野 輝	41	東 京	(東京支部長)
副 会 長	村田 武	41	愛 媛	(愛媛支部長)
副 会 長	千葉 昭	44	香 川	(香川支部長)
副 会 長	西村 義明	47	名 古 屋	(名古屋支部長)
副 会 長	藤永 憲一	48	九州北部	(九州北部支部長)
副 会 長	槌野 吉郎	50	近 畿	(近畿支部長)
顧 問	辻井 昭雄	31	近 畿	
顧 問	西澤 宏繁	36	東 京	
理 事	合田 隆年	35	東 京	
理 事	岡野 徹	38	東 京	
理 事	柿本 壽明	39	東 京	
理 事	木村 泰彦	41	東 京	
理 事	岡本 昂	42	東 京	
理 事	河毛 正志	44	東 京	
理 事	近藤 勝重	44	東 京	
理 事	中 博	44	東 京	
理 事	太田 邦正	46	東 京	
理 事	相京 重信	47	東 京	(東京副支部長)
理 事	加藤 秀樹	48	東 京	
理 事	柄澤 康喜	50	東 京	
理 事	田中 義雄	38	近 畿	
理 事	河合 司二	39	近 畿	
理 事	本山 美彦	40	近 畿	
理 事	野尻 賢司	44	近 畿	(近畿副支部長)
理 事	出田 善蔵	45	近 畿	
理 事	岡本 達雄	46	近 畿	(近畿副支部長)
理 事	古川 博	46	近 畿	(近畿副支部長)
理 事	麻生 純	47	近 畿	
理 事	植田 和保	51	近 畿	(近畿副支部長)
理 事	戸神 良章	52	近 畿	(近畿副支部長)
理 事	林 洋	52	近 畿	(近畿副支部長)
理 事	中井 敏宏	52	近 畿	
理 事	酒井 純	52	北 海 道	
理 事	室賀 博幸	47	名 古 屋	(名古屋副支部長)
理 事	磯村 辰生	51	名 古 屋	(名古屋副支部長)
理 事	伊藤 雅也	53	名 古 屋	
理 事	田島 明雄	53	名 古 屋	
理 事	高塚 達彦	55	名 古 屋	
理 事	近藤 治郎	60	名 古 屋	
理 事	渡邊 智樹	49	香 川	(香川副支部長)
理 事	梶原 正秀	50	愛 媛	
理 事	鎌田 迪貞	33	九州北部	
理 事	東本 和行	50	九州北部	
理 事	葉真寺偉臣	51	九州北部	
理 事	鎬流馬清規	52	九州北部	
理 事	花田 恭一	53	九州北部	
理 事	丸元 貞夫	38	九州南部	
理 事	林田 素行	44	九州南部	
理 事	宮本 智司	54	九州南部	
監 事	大川 雅司	47	近 畿	

教員

本部役職	氏 名
理 事 長	江上 雅彦
常務理事	田中 彰
理 事	砂川 伸幸
理 事	依田 高典
理 事	岩本 武和
理 事	宇仁 宏幸
理 事	岡 敏弘
理 事	黒澤 隆文
理 事	佐々木啓明
理 事	澤邊 紀生
理 事	塩地 洋
理 事	島本 哲朗
理 事	神事 直人
理 事	末松 千尋
理 事	梶山 泰生
理 事	関口 倫紀
理 事	武石 彰
理 事	アスリ・M・チョルバン
理 事	徳賀 芳弘
理 事	西牟田祐二
理 事	西山 慎一
理 事	根井 雅弘
理 事	原 良憲
理 事	久野 秀二
理 事	久本 憲夫
理 事	藤井 秀樹
理 事	松井 啓之
理 事	文 世一
理 事	諸富 徹
理 事	矢野 剛
理 事	山田 憲
理 事	劉 徳強
理 事	若井 克俊
理 事	若林 直樹
理 事	若林 靖永
理 事	渡邊 純子
監 事	草野 真樹

同窓会学内
企画委員会委員

委 員 長	依田 高典
委 員	梶山 泰生
委 員	山田 憲
委 員	安井 大真
委 員	千葉 早織

京都大学経済学部同窓会 VISAカード入会のご案内

京都大学経済学部同窓会では、三井住友カード株式会社と提携し、京都大学経済学部卒業生のみが加入できる「VISAカード」を発行しております。デザインは経済学部70周年記念に使用した写真(飯野春樹氏撮影)を図案化したもので、卒業後も母校への愛着と絆が一層深まることを願っております。

同窓会では、このカードの発行により、会員の皆様の住所や勤務先の変更を正確に把握できるとともに、カード利用額の一部を提携手数料として受け取ることができ、財政基盤確立の一助となっています。また会員の皆様におかれましても同窓会の年会費をこのカードにより自動振替^(※1)とすることができますので大変便利かと存じます。
(※1希望者のみ)

カードの年会費が無料になる場合がありますので詳しくは 0120-816-437までお問い合わせください。どうか本カードの主旨をご理解のうえ、お申込み頂ければ幸いです。

京都大学経済学部同窓会 理事長 江上 雅彦



VISA
ゴールドカード



VISA カード

入会特典

対象者 …本人以外でも適用になる場合

■ 総合博物館(京都大学)

観覧料無料

■ 白浜水族館(京都大学)

入館料無料

■ 山ばな 平八茶屋

7,000円の昼懷石以上の懷石料理注文者に食前酒1杯無料サービス

対象者 5名まで適用

■ ワタベウェディング(株)

国内、海外挙式パッケージより5%割引 (旅行会社などの取引先販売店による挙式申込は対象外)

貸衣裳(単品)20%割引 (衣裳込みパッケージ、衣裳予約システムおよび現地レンタル衣裳は対象外)

販売衣裳(単品)10%割引 (衣裳込みパッケージは対象外)

対象者 カード会員本人と家族(2親等以内)

■ 加越 (造り酒屋)

■ リーガロイヤルホテル京都

レギュラーフロア ラグジュアリーツインの客室利用料金を優待料金にて提供

直営レストラン5店舗での利用料金5%割引

レストラン利用時に、誕生日の者に食前酒1杯(上限4名まで)と記念写真を無料提供

同窓会報の広告ページに記載の料金よりさらに値引き(値引額は確認要です)

ご入会方法

同窓会事務局までご連絡ください。入会申込みパンフレットを送付させていただきます。
※同窓会事務局の連絡先は会報裏面に記載しております。

目 次

京都大学経済学部創立100周年記念行事のご案内	表2
会長あいさつ	2
特集 写真で見る経済学部の百年	3
池上先生 近況報告	10
卒業生エッセイ	11
教員の紹介	12
各支部からの便り	14
同窓会総会報告	24
在学生イベント	26
卒業50周年記念同窓会	27
大学院改革	28
探検部	29
事務局からのお知らせ	30
クラス会・ゼミ会	32
京都大学総長からのお願い	35
住所不明にならないために	36
住所不明者リスト	37
ホームページ紹介	49
事務局通信	50
コモンルームのご案内	51
収支決算書	52
本部役員名簿	53
VISAカード入会のご案内	54
広告リスト	55
広告	56
グッズ販売	表3

京都大学経済学部同窓会報 N0.22

2019年8月1日発行

発行 京都大学経済学部同窓会事務局
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL・FAX. (075) 753-3419

編集 京都大学経済学部同窓会事務局
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL・FAX. (075) 753-3419

印刷 為国印刷株式会社

経済学部同窓会オリジナルグッズの販売

総会の記念品として作成した経済学部同窓会のロゴ入りオリジナルグッズをゼミ会やクラス会で配布されては如何でしょうか。ご希望の方は同窓会事務局までお問い合わせください。

数量限定のため、
在庫限りとなります。

■A5判ハードカバーノートブック（ゴムバンド付）

各 500 円



中ページ
全面白紙

■ハードカバーミニノート（ゴムバンド付）

サイズ（タテ 140 × ヨコ 88mm） 各 400 円



中ページ
罫線つき

■ボールペン（黒インク）

各 200 円

ブラック ×
ゴールド

ブラック ×
シルバー

ホワイト



■布バック サイズ（タテ 335 × ヨコ 280 × マチ 70mm）

各 500 円



■A4判クリアファイル（3枚セット）

200 円





京都大学経済学部同窓会事務局

〒606-8501

京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部内

【TEL・FAX】 075-753-3419

【TEL ②】 075-753-3508

【E-mailアドレス】 dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp

【ホームページ】 <http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~dosokai/D-index.html>

京都大学経済学部同窓会

検索

でご覧いただけます